

令和4年度

足立区

教育委員会

の権限に属する

事務の管理及び執行の状況

点検・評価報告書



足立区教育委員会 教育政策課

目次

第1章 評価概要

・ はじめに	3
・ 評価サイクル	6
・ 自己評価について	7
・ 外部評価について	11

第2章 評価シート

・ 評価シートの見方	19
施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援	22
戦略1 豊かな心の育成	23
戦略2 健やかな体の育成	29
施策4 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実	42
戦略1 安全で環境に優しい施設整備	43
戦略2 適正規模・適正配置	49
戦略3 学校運営支援	53
戦略4 就学環境の整備	61

第3章 評価シート(実績値)

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み	70
施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実	82
施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援	98

第1章 評価概要

はじめに

令和2年3月、足立区では、教育基本法に規定する「教育振興基本計画」として、「足立区教育振興ビジョン」を策定しました。

本計画では、区の教育行政として取り組むべき施策・事業について、毎年度のPDCAサイクルに基づく進行管理により、より効率的・効果的かつ着実な成果をめざすこととしています。

なお、評価初年度にあたる令和3年度は足立区教育振興ビジョンに示す全ての施策・事業の令和2年度実績を対象に、各所管の「自己評価」と点検・評価委員(※1)による「外部評価」を行いました。

令和4年度からはP4のとおり位置付けを変更するとともに、より深い点検・評価が実施できるよう、表1のとおり各年度の評価対象を絞り、令和4年度から7年度までの4年間で全ての施策を2回評価していきます(ただし、当該年度の評価対象外となった施策についても進捗管理のため、指標の達成度を算出することとします)。

表1 点検・評価スケジュール

	R4	R5(※2)	R6	R7
施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援	○	○		
施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み		○	○	
施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実		○		○
施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実	○	○		
施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援		○	○	

➡ **令和4年度評価対象**

- ・ 施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援(2戦略)
- ・ 施策4 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実(4戦略)

※1 点検・評価委員は、学校教育、就学前教育の有識者を想定。令和3年度は各分野の有識者2名に依頼した。

※2 計画最終年の前年(令和5年)には、現計画(令和2年度～6年度)の改訂に向けて、学校教育、就学前教育に有識者に、学校長やPTA代表等を委員に加えて検証を実施するものとする。

＜位置付けの変更＞

地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条において、教育委員会は、毎年、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について点検及び評価することが義務付けられています。この点検及び評価の実施について、以下のとおり変更します。

1 令和3年度

(1) 教育委員会の点検及び評価(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条)

教育委員が当該年度のテーマ事業の視察後に実施する自己評価と、行政評価を代用した外部評価により実施

(2) 「足立区教育振興ビジョン」の点検・評価

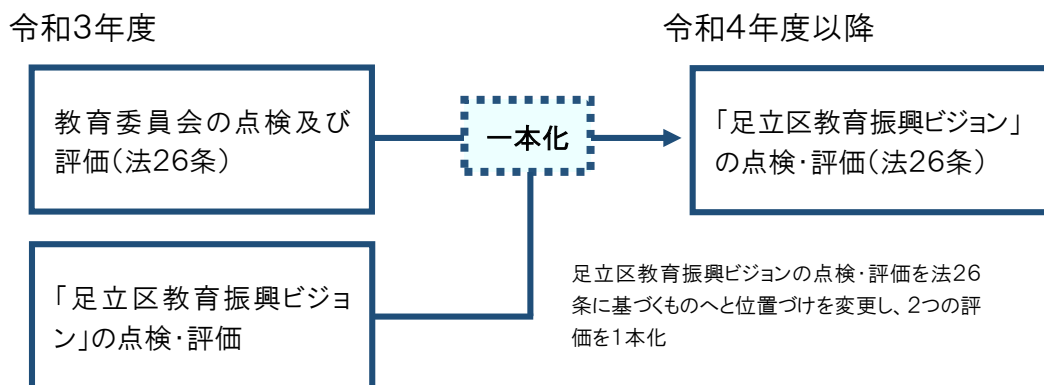
「足立区教育振興ビジョン」の策定に伴い、法律に基づく点検及び評価とは別に、計画に示す指標に基づき、前年度の実績を対象に評価を実施

2 令和4年度以降

以下の理由から、「足立区教育振興ビジョン」の点検・評価の位置づけを、法律に基づく「点検及び評価」へと変更し、上記2つの評価を1本化(図1)します。

- ① 「足立区教育振興ビジョンの点検・評価」は、教育に関する施策・事業の大半が対象となっている点など「点検及び評価」として十分に機能すること
- ② 外部有識者の知見を活用していること

図1 位置付け変更図



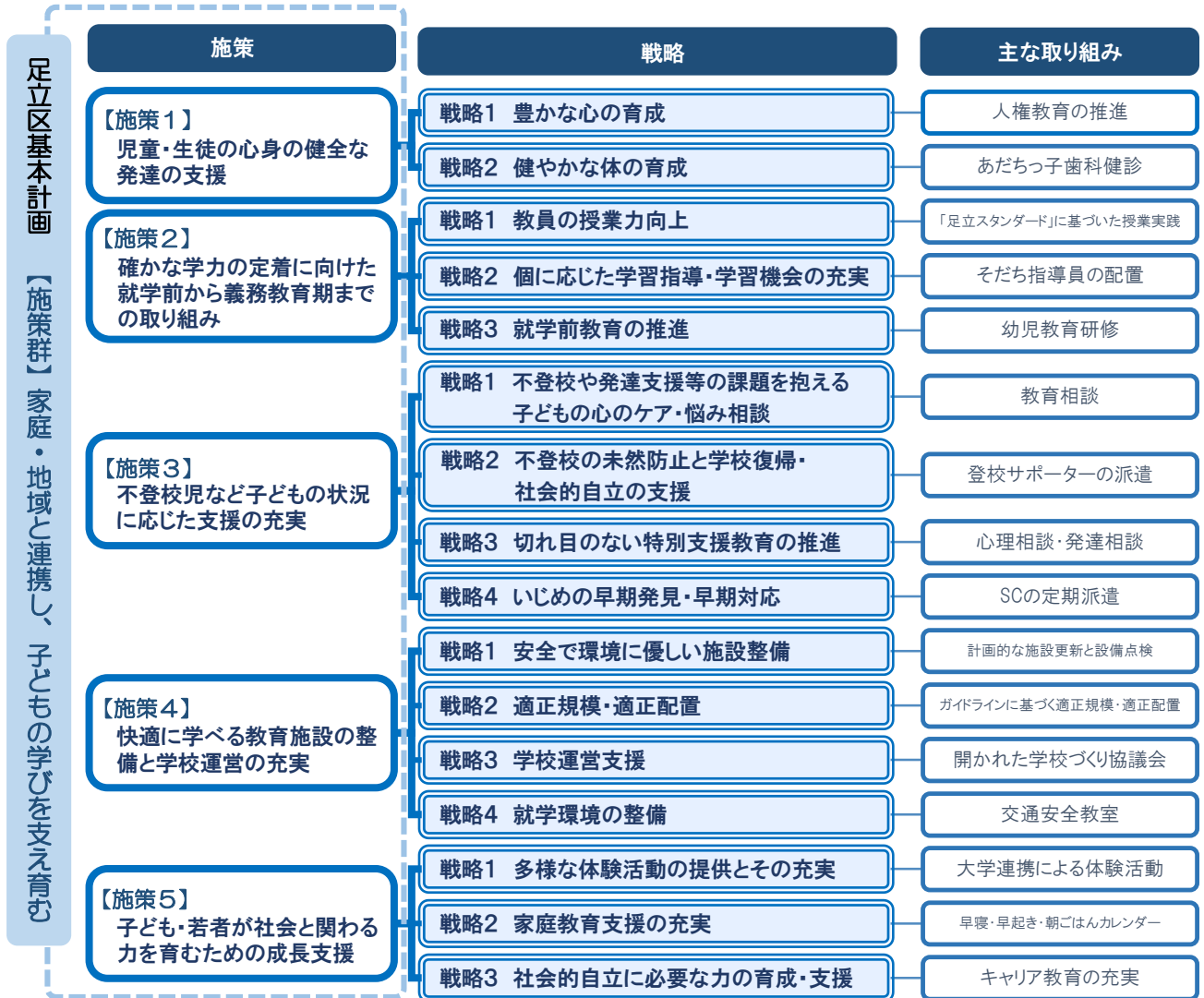
【参考】地方教育行政の組織及び運営に関する法律

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

- 第二十六条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。)を含む。)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。
- 2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

<足立区教育振興ビジョンの体系図>

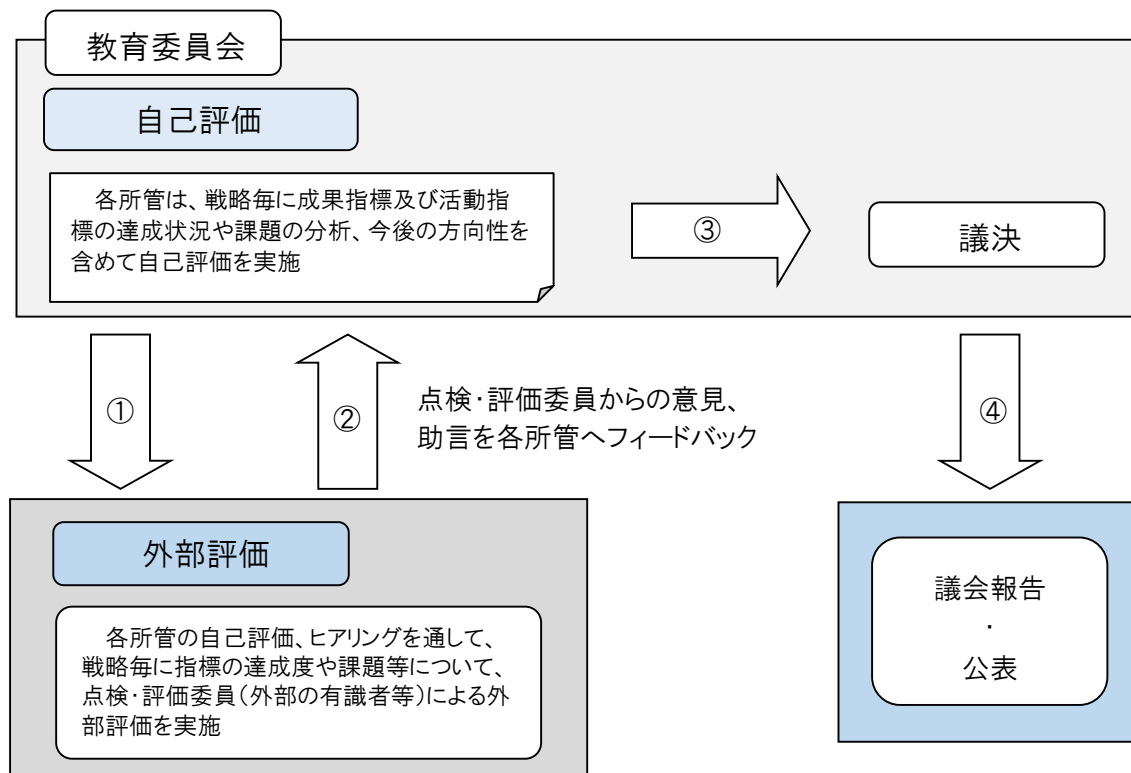
本計画は、「足立区基本計画」の分野別計画の一つで、施策群1「家庭・地域と連携し、子どもの学びを支え育む」に分類されている5つの教育施策について、各施策を実現するための「戦略」と、戦略ごとの具体的な取り組みを示す構成で体系的に整理しました。



評価サイクル

各所管による①自己評価を実施後、外部有識者である点検・評価委員がこれを基に外部評価を実施します。これらを報告書としてとりまとめた後、各所管の来年度以降の予算編成や事業改善のために②フィードバックを行います。③その後、教育委員会の議決に付し、議決を得られた際は、④議会に結果を報告するとともに、区ホームページ上に公表します。

自己評価についての詳細はP7、外部評価についての詳細はP11をご覧ください



自己評価について

1 自己評価の流れ

各所管は戦略毎に、以下の流れで自己評価を行いました。

- (1) 指標の実績値や達成状況
当該戦略の達成度を測る「成果指標」及び、戦略に沿った各事業の活動量・活動結果を測る「活動指標」の実績値や達成状況を算出しました。
- (2) 指標分析
(1)を踏まえて、①実績値及び達成状況の結果②実績値、達成率へ至った要因の分析、③前年度の外部委員からの評価・助言を事業にどう反映させたかなどの視点から指標を分析しました。
- (3) 課題と今後の予定、方向性
(2)を踏まえ、①前年度に生じた課題や目標達成への障害など、②今後、課題をどのように解決を図るか、そのための具体的な方法や手立てと、③今後の方向性を検討しました。
- (4) 自己評価(活動指標のみ)
基準表1を参考に、(1)から(3)を踏まえ、A、B⁺、B、C、C⁻、D、Eの7段階評価を実施しました。なお、基準表()内の達成率は目安となっています。

基準表1 自己評価基準表(各所管が自己評価をする際の目安として活用します)

A	B ⁺	B	C	C ⁻	D	E
目標を大きく上回った (達成率140%以上)	目標を上回った (達成率120%以上)	目標通り (達成率100%以上)	概ね目標通り (達成率90%以上)	目標を下回った (達成率70%以上)	目標を大きく下回った (達成率50%以上)	目標を著しく下回った (達成率50%未満)

2 自己評価結果

- (1) 結果概要
 - ア 令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、事業が縮小または未実施となったものがありましたが、施策1から5に掲げる全ての成果指標、活動指標の内、それぞれ97%を測定することができました。また、令和2年度は達成率100%以上を達成した指標は約3割程度でしたが、令和3年度は約15ポイントの改善が伺えました。
 - イ これに伴い、各所管による自己評価(令和4年度は施策1及び4が対象)は、新型コロナウイルス感染症の影響により14%の活動指標が目標を大きく下回るD以下の評価となりましたが、昨年度26%よりも改善が見られました。
 - ウ 個別の取り組みで見ると、運動や歯みがきなど接触感染や飛沫感染の恐れのある取り組みは十分に実施できませんでしたが、これまでの継続的な取り組みの影響もあり、年長児、児童・生徒ともむし歯の割合は昨年度より減少するなど目標を達成できた指標もありました。

(2) 自己評価結果一覧

ア 令和4年度自己評価結果一覧表

P7の基準表1を参考に指標の実績値のほか、指標分析等を踏まえて所管の判断で行う自己評価をまとめたものです。

なお、今回評価対象となった施策1及び施策4のみの集計となっています。

施策名・戦略名	活動指標数								計	ページ
	A	B ⁺	B	C	C ⁻	D	E			
【施策1】 児童・生徒の心身の健全な発達の支援										
戦略1 豊かな心の育成	1(0)	0(0)	0(1)	1(0)	0(1)	2(1)	0(1)	4(4)	23	
戦略2 健やかな体の育成	3(1)	0(0)	2(4)	3(1)	3(2)	1(2)	2(2)	14(12)	29	
【施策4】 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実										
戦略1 安全で環境に優しい施設整備	0(1)	0(1)	5(3)	0(0)	1(0)	0(0)	0(1)	6(6)	43	
戦略2 適正規模・適正配置	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(1)	0(0)	1(1)	49	
戦略3 学校運営支援	1(0)	0(0)	4(4)	1(1)	0(1)	0(1)	1(0)	7(7)	53	
戦略4 就学環境の整備	2(2)	0(2)	4(3)	2(2)	2(0)	0(0)	0(1)	10(10)	61	
【集計】										
活動指標数	7(4)	0(3)	15(15)	7(4)	7(4)	3(5)	3(5)	42(40)		
割合(%)	17(10)	0(8)	36(38)	17(10)	17(10)	7(13)	7(13)	100		

表の見方

数値は活動指標数を示しています。

例えば、施策4の戦略4に掲載している活動指標(計10指標)の中で、自己評価をA評価としたものが2指標、Bが4指標、Cが2指標、C⁻が2指標であったことを示しています。

()内は昨年度の数値となっています。

イ 指標の達成状況一覧

成果指標および活動指標の達成率を示したものです。

こちらは新型コロナウイルス感染症の影響で測定不可となったもの等を除く施策1から施策5までの全ての指標の集計となっています。

達成率	活動指標		成果指標	
	151指標(118)	比率	87指標(82)	比率
50%未満	20(21)	13%(18)	1(0)	1%(0)
50%以上	10(13)	7%(11)	6(2)	7%(2)
70%以上	20(16)	13%(14)	9(6)	10%(7)
90%以上	24(12)	16%(10)	28(11)	32%(13)
100%以上	50(28)	33%(24)	34(19)	39%(23)
120%以上	18(7)	12%(6)	5(1)	6%(1)
140%以上	4(5)	3%(4)	1(1)	1%(1)
測定不可	5(16)	3%(14)	3(42)	3%(51)

表の見方

- 1 成果指標・活動指標それぞれの令和3年度実績の目標値に対する達成率の分布を示しています。
- 2 成果指標と活動指標の関係ですが、複数の活動を行うことで、1つの成果につながるものもあるため、必ずしも対になっているわけではありません。
- 3 比率は、四捨五入しているため、その合計値は必ずしも100にはなりません。
- 4 令和4年度点検・評価は新型コロナウイルス感染症の影響等により、事業が実施できなかったなどにより活動指標は5指標、成果指標は3指標が測定不可となりました。
- 5 ()内は昨年度の数値となっています。
- 6 指標の新規設定等により指標数は昨年度と今年度とで異なります。

外部評価について

1 外部評価の流れ

点検・評価委員は、以下の流れで指標の達成度や課題等について、戦略毎に外部評価を実施しました。

【令和4年度点検・評価委員】

＜学校教育の分野＞ 横浜国立大学 石塚 等教授

＜就学前教育の分野＞ 日本体育大学 齊藤 多江子教授

(1) 自己評価シートの確認とヒアリングの実施

点検・評価委員は、各所管が作成した自己評価シートを確認するとともに、疑問点の確認など、点検・評価に必要な情報を聞き出してもらうため、所管とのヒアリングを実施しました。

(2) 評価の実施

点検・評価委員は、(1)を踏まえ、以下のとおり評価を行いました。

ア P12の「基準表1 観点別評価基準表」に示す4つの評価観点から、施策・事業全体に係る意見や助言を記載しました。

イ 4つの評価観点について、7段階の観点別評価を実施するとともに、P12の「基準表2 全体評価基準表」に基づき、AからEまでの7段階で全体評価を実施しました。

ウ 全体評価を踏まえて、各自の専門領域の立場から、今後の施策・事業への期待や要望、専門的助言を行いました。

基準表1 観点別評価基準表

評点	評価観点			
	①助言や今後の期待・要望への反映率	②目標・成果の達成状況	③各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	④児童・生徒にとって真に効果的か
1	評価(助言)が全く反映されていない。 (反映率:0%程度)	多くの取組みに課題があり戦略の目標達成のための成果が出ていない。改善が必要である。		多くの取組みに課題があり、効果的でない。改善が必要である。
2	評価(助言)の反映が消極的である。 (反映率:20%程度)	いくつかの取組みにおいて課題があり、戦略の目標達成に向けた成果があまり出ていない。	各取組みが戦略の方向性に合致しておらず、手法の選択も抜本的に見直す必要がある。	いくつかの取組みにおいて課題があり、あまり効果的ではない。
3	評価(助言)をある程度反映した。 (反映率:30%程度)	・いくつかの取組みにより戦略として成果は概ね出ているが、さらなる努力が必要である。 ・戦略の成果は出ているものの、多くの取組みに課題が見られる。	各取組みが戦略の方向性と合わない部分があり、手法の選択もやや課題がある。	いくつかの取組みにより、概ね効果的ではあるが、改善が必要である。
4	評価(助言)をある程度反映した。 (反映率:50%程度)	・いくつかの取組みにより戦略として成果は概ね出ているが、さらなる努力が必要である。 ・戦略の成果は出ているものの、課題が見られる。	各取組みが戦略の方向性に概ね適切であるが、手法の選択にやや課題がある。	いくつかの取組みにより、概ね効果的ではあるが、さらなる努力が必要である。
5	評価(助言)を積極的に反映した。 (反映率:70%程度)	優れた取組みがいくつかあり、戦略の目標達成に向け、成果が出ている。	各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も概ね適切である。	優れた取組みがいくつかあり、効果的である。
6	評価(助言)を積極的に反映した。 (反映率:80%程度)	優れた取組みが多く、戦略の目標達成に向け、成果が出ている。	各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も適切であるため推進していく方がよい。	優れた取組みが多く、効果的である。
7	評価(助言)以上に反映した。 (反映率:100%以上)	優れた取組みが多く、戦略の目標達成に向け、十分な成果が出ている。	各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も適切であるため積極的に推進すべきである。	優れた取組みが多く、非常に効果的である。

基準表2 全体評価基準表

評定合計値	28～26	25～23	22～20	19～16	15～12	11～8	7～5
評価	A	B ⁺	B	C	C ⁻	D	E

2 外部評価結果

(1) 結果概要

ア 全6戦略中、B評価が最も高く4戦略、C評価が2戦略となり、A評価やB+評価を受けた戦略はありませんでしたが、一方で昨年あったC評価以下の評価もありませんでした。

イ 全体評価Bを受けた中でも基準点が最も高かったのは施策4-戦略1「安全で環境に優しい施設整備」でした。

【評価されたポイント】

一部、入札不調や工事延期により未達成の指標があるものの、おおむね目標値を上回っており、順調に子どもたちが快適に学ぶ環境が整備されていると評価されました。

また、施設更新、空調やトイレ等の整備やLED化など環境に配慮した取組は、子どもたちが快適に学ぶ環境を整備する上で効果的であると、観点2及び観点4で評価点6の評価を得ました。

ウ 今回の評価で最も低いCの評価を得たのは、施策1-戦略2「健やかな体の育成」及び施策4-戦略3「学校運営支援」でした。

<施策1-戦略2「健やかな体の育成」>

新型コロナウイルス感染症により様々な活動に制約があったとはいえ目標値未達の指標がおよそ半数にのぼったことや、成果指標と活動指標とのつながりを再検討する必要があるとのことで、全体としてはC評価となりました。

<施策4-戦略3「学校運営支援」>

昨年度比では改善が見られるものの目標値には未達であり、一層の働き方改革の推進が必要であることや、中学校における図書館支援員の活用に学校間格差があること、コミュニティスクールの設置、関連事業が進まない原因を分析し、これを踏まえてどう改善していくのか検討すべきとの指摘がありC評価となりました。

エ 観点1「助言や今後の期待・要望への反映率」は6戦略中5戦略が「評価(助言)を積極的に反映した」の評価5でした。

事業の持ち方や活動の仕方に工夫が見られたほか、昨年度設定すべきと助言のあった成果指標・活動指標の新規設定や性差がある指標を男女別に変更するなど、積極的に評価(助言)を反映したと評価されました。

オ 観点2「目標・成果の達成状況」は4戦略が「課題が見られる」の評価4でした。

新型コロナウイルス感染症の影響により、事業の縮小等の制限を受けたことで、目標値未達成となったことは考慮する必要があるものの、手法の工夫の必要があるとして、目標・成果の達成状況には課題が見られると評価されました。

カ 観点3「各取組みが戦略の方向性に沿ったものか」は6戦略全てで「方向性に合致しており、手法も概ね適切である」の評価5以上でした。

6戦略全てで7点満点中5点以上となり、平均5.3点と、昨年度平均4.9点を超え、概ね戦略の方向性に沿って実施されたと評価されました。特に、施策1-戦略1「豊かな心の育成」では教員の指導力向上と子どもたちの豊かな体験の両面から効果的である。施策4-戦略2「適正規模・適正配置」では統合等の計画に基づき協議を進めながら進めていると評価6を得ました。

キ 観点4「児童・生徒にとって真に効果的か」は6戦略全てで「優れた取組みがいくつかあり、効果的である」の評価5以上でした。

観点4も全ての戦略で5点以上となり、平均5.2点と昨年度平均4.8点を超え、概ね教育的観点から有効な取組みがなされたと評価されました。

(2) 外部評価結果一覧

ア 令和3年度観点別評価及び全体評価一覧

施策名・戦略名	観点1 反映率	観点2 達成状況	観点3 方向性	観点4 効果的	全体	全体 (前年)	ページ
【施策1】 児童・生徒の心身の健全な発達の支援							
戦略1 豊かな心の育成	5 ⁽⁻⁾ /7	4 ⁽³⁾ /7	6 ⁽⁵⁾ /7	5 ⁽⁵⁾ /7	B	C	27
戦略2 健やかな体の育成	5 ⁽⁻⁾ /7	4 ⁽⁴⁾ /7	5 ⁽⁵⁾ /7	5 ⁽⁴⁾ /7	C	C	39
【施策4】 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実							
戦略1 安全で環境に優しい施設整備	5 ⁽⁻⁾ /7	6 ⁽⁵⁾ /7	5 ⁽⁵⁾ /7	6 ⁽⁵⁾ /7	B	B	47
戦略2 適正規模・適正配置	5 ⁽⁻⁾ /7	4 ⁽⁴⁾ /7	6 ⁽⁵⁾ /7	5 ⁽⁵⁾ /7	B	B	51
戦略3 学校運営支援	4 ⁽⁻⁾ /7	4 ⁽⁴⁾ /7	5 ⁽⁴⁾ /7	5 ⁽⁴⁾ /7	C	C	59
戦略4 就学環境の整備	5 ⁽⁻⁾ /7	6 ⁽⁵⁾ /7	5 ⁽⁵⁾ /7	5 ⁽⁵⁾ /7	B	B	67

()内は昨年度の数値となっています。ただし、昨年度が評価初年度にあたることから観点1の実績はありません。

イ 全体評価及び各戦略の観点別評価集計表

(ア)全体評価集計表(Aが最高評価)

評点	全体評価	割合
A	0(0)	0%(0)
B ⁺	0(0)	0%(0)
B	4(11)	67%(69)
C	2(4)	33%(25)
C ⁻	0(1)	0%(6)
D	0(0)	0%(0)
E	0(0)	0%(0)
戦略数	6(16)	100%

()内は昨年度の数値となっています。

(イ) 観点別評価集計表(7が最高評価)

評点	観点1(※3)		観点2(※3)		観点3(※3)		観点4(※3)		戦略数	割合
	戦略数	割合	戦略数	割合	戦略数	割合	戦略数	割合		
1	0 (-)	0% (-)	0(0)	0%(0)			0(0)	0%(0)	0(0)	0% (0)
2	0 (-)	0% (-)	0(0)	0%(0)	0(0)	0%(0)	0(0)	0%(0)	0(0)	0% (0)
3	0 (-)	0% (-)	0(3)	0%(19)	0(0)	0%(0)	0(0)	0%(0)	0(3)	0% (6)
4	1 (-)	17% (-)	4(5)	67%(31)	0(2)	0%(13)	0(4)	0%(25)	5(11)	21% (23)
5	5 (-)	83% (-)	0(7)	0%(44)	4(13)	67%(81)	5(11)	83%(69)	14(31)	58% (65)
6	0 (-)	0% (-)	2(1)	33%(6)	2(1)	33%(6)	1(1)	17%(6)	5(3)	21% (6)
7	0 (-)	0% (-)	0(0)	0%(0)	0(0)	0%(0)	0(0)	0%(0)	0(0)	0% (0)
平均点	4.8(-)		4.7(4.4)		5.3(4.9)		5.2(4.8)		5.0(4.7)	
戦略数	6(16)		6(16)		6(16)		6(16)			

()内は昨年度の数値となっています。

ただし、昨年度が評価初年度にあたることから観点1の実績はありません。

※3 観点1から観点4は以下のとおりです。

- ・ 観点1 助言・今後の期待への反映率
- ・ 観点2 目標・成果の達成状況
- ・ 観点3 各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか
- ・ 観点4 児童・生徒にとって真に効果的か

第2章 評価シート

本章では以下の2つの施策における達成状況、自己評価及び外部評価を掲載しております。

- ・ 施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
- ・ 施策4 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実

評価シートの見方

1 自己評価シート（各所管が作成）

■実績値と目標値の記載

各所管は当該年度の実績値と次年度の目標値を記載

ただし、令和2年度の目標値は既存の計画等で定めていた場合など一部を除き、令和6年度目標値を割り返した数値としている。

また、達成率は実績値/目標値(低減目標の場合は目標値/実績値)としている。

施策1	児童・生徒の心身の健全な発達の実現
戦略1	豊かな心の育成
施策1	児童・生徒の心身の健全な発達
戦略1	豊かな心の育成

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	年度						■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価						
				H30	R2	R3	R4	R5	R6									
成果1	教育指導課	「足立区学力定着に関する総合調査」で小学生及び中学生が「自分にはよいところがあると思う」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	72	62	-	-	-	-	-	-						
				目標値	-	-	72.8	63.3	73.4	64	-	-			77	70		
				達成率	-	-	-	-	0%	0%	-	-			-	0%	0%	
				実績値	93	92.3	-	-	-	-	-	-			-	-	95	95
成果2	教育指導課	「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「人の役に立つ人間になりたいと思う」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	93	92.3	-	-	-	-	-	-	-					
				目標値	-	-	93.3	92.8	93.5	-	-	-	-			95	95	
				達成率	-	-	-	-	0%	0%	-	-	-			-	0%	0%
				実績値	86.3	93.3	-	-	-	-	-	-	-			-	-	90
成果3	教育指導課	「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「学校のまわりを守っている」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	86.3	93.3	-	-	-	-	-	-	-					
				目標値	-	-	86.9	93.6	87.2	93.7	-	-	-			-	90	95
				達成率	-	-	-	-	0%	0%	-	-	-			-	0%	0%
				実績値	291	130	-	-	-	-	-	-	-			-	-	306

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	年度						■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価							
				H30	R2	R3	R4	R5	R6										
活動1	教育指導課	教員対象の人権教育の研修会の参加小・中学校の割合【参加延べ人数】	人	実績値	100	96.3	-	-	-	-	-			1 C-					
				目標値	-	100	97.2	-	-	-	100								
				達成率	-	96%	0%	-	-	-	0%								
				実績値	291	130	-	-	-	-	-				-	-	-	306	
活動1	教育指導課	教員対象の人権教育の研修会の参加小・中学校の割合【参加延べ人数】	人	実績値	291	130	-	-	-	-	-			2 D					
				目標値	-	294	294	-	-	-	306								
				達成率	-	-	-	-	0%	0%	-				-	-	-	0%	0%
				実績値	291	130	-	-	-	-	-				-	-	-	-	306

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)

各所管は、指標の実績値や達成率を踏まえて以下の視点から指標を分析

- ① 実績値及び進捗状況の結果
- ② 実績値・達成率へ至った要因の分析
- ③ 前年度の外部委員からの評価・助言を事業にどう反映させたかなど

■課題と今後の予定、方向性

各所管は「指標分析」を踏まえて以下の内容を記載

- ① 前年度に生じた課題や目標達成への障害など
- ② 今後、これらの課題をどのように解決を図るか、そのための具体的な方法や手立て
- ③ 今後の方向性(見通し)

■自己評価

各所管は活動指標のみ、実績値のほか、指標分析を踏まえ、7段階で評価を実施

A	B ⁺	B	C	C ⁻	D	E
目標を大きく上回った (達成率 140%以上)	目標を上回った (達成率 120%以上)	目標通り (達成率 100%以上)	概ね目標通り (達成率 90%以上)	目標を下回った (達成率 70%以上)	目標を大きく下回った (達成率 50%以上)	目標を著しく下回った (達成率 50%未満)

2 点検・評価シート（点検・評価委員が作成）

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
戦略1 健やかな体の育成

【点検・評価委員による評価】	
全体評価	今後の期待・要望

■全体評価

点検・評価委員は、所管の作成した評価シートと質問シートやヒアリングを通じて得られた情報に基づき、観点1から4までの4つの観点から施策・事業全体に係る意見や助言を記載。

■今後の期待・要望

点検・評価委員は、全体評価を踏まえて、各自の専門領域の立場から、今後の施策・事業への期待や要望、専門的助言を記載

■全体評価レーダーチャート

戦略の強みや弱みができるよう、外部評価をレーダーチャートで表記

全体評価レーダーチャート

【観点1】 助言・今後の期待への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か
5	3	5	5

■全体評価(7段階)

観点別点数の合計点を算出し、P12の表2を基準としてA、B⁺、B、C、C⁻、D、Eまでの7段階で全体評価を実施。

■観点別評価

観点1 助言・今後の期待への反映率
 観点2 目標・成果の達成状況
 観点3 各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか
 観点4 児童・生徒にとって真に効果的か

の4つの観点について、P12の「基準表1 観点別評価基準表」を基準に1から7までの7段階評価を実施。

施策 1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援

戦略 1 豊かな心の育成·····	23
戦略 2 健やかな体の育成·····	29

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略1 豊かな心の育成

施策1	児童・生徒の心身の健全な発達の支援	記入所属	教育指導課 学務課
戦略1	豊かな心の育成		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
成果1	教育指導課	「足立区学力定着に関する総合調査」で小学生及び中学生が「自分にはよいところがあると思う」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	72	62	-	-	73.7	67.6	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	72.8	63.3	73.4	64	74.7	65.9	/	/	77	70
				達成率	-	-	-	-	100%	106%	-	-	-	-	-	-
成果2	教育指導課	「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「人の役に立つ人間になりたいと思う」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	93	92.3	-	-	93.6	93.2	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	93.3	92.8	93.5	93	94	93.6	/	/	95	95
				達成率	-	-	-	-	100%	100%	-	-	-	-	-	-
成果3	教育指導課	「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「学校のきまりを守っている」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	86.3	93.3	-	-	/	/	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	86.9	93.6	87.2	93.7	87.6	93.8	/	/	90	95
				達成率	-	-	-	-	0%	0%	-	-	-	-	-	-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	教育指導課	教員対象の人権教育の研修会の参加小・中学校の割合【参加延べ人数】	%	実績値	100	96.3	92.3	/	/	/
				目標値	-	100	97.2	100	/	100
				達成率	-	96%	95%	-	-	-
			人	実績値	291	130	96	/	/	/
				目標値	-	294	294	103	/	102
				達成率	-	44%	33%	-	-	-
活動2	教育指導課	道徳教育研修会の実施回数	回	実績値	2	1	2	/	/	/
				目標値	-	2	2	2	/	3
				達成率	-	50%	100%	-	-	-

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略1 豊かな心の育成

めざす方向性	人権教育を推進して人権尊重の意識の向上を図るとともに、道徳教育や様々な体験活動を通じて、基本的な生活習慣や規範意識を確実に身につける指導・支援を行います。 人間としての尊厳、自他の生命の尊重、倫理観などの道徳性を養い、法やルールを遵守する意味を理解し、主体的に判断し、適切に行動できる人の育成をめざします。
--------	--

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
<p>成果指標1及び2は、目標値を上回った。人権教育や道徳教育を核とした「豊かな心の育成」に向けた継続的な取組の成果であると考えます。</p> <p>新型コロナウイルス感染症対策の影響で、家庭や地域との連携、異年齢集団との活動や交流、体験機会、自然体験等が学校教育の中で減少したが、キャリア教育や特別の教科道徳などといった、これらを補う教育活動の工夫が各学校であったと分析する。</p> <p>成果指標3については、令和3年度の調査項目から削除されているため、実績値はない。</p>	<p>引き続き、学校、就学前教育、保育施設と家庭、地域との連携・協働・協創を強め、人権教育や道徳教育、様々な体験活動を通して「豊かな心の育成」に努めていく。</p>

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>参加予定校数は全小・中学校104校であったが、校内の緊急対応等のやむを得ない理由により欠席者が出るなどして、出席校数は96校であった。なお、新型コロナウイルスの影響により、令和3年度は1校1名の参加となったため、延べ人数は96人である。</p> <p>また、教員の働き方改革という観点から、令和4年度より研修回数を年1回・参加人数を各校1名に変更するため、目標値を103人とした。</p>	<p>教員による不適切な指導や対応を防ぐため、引き続き、人権教育研修会において、LGBTに関する人権課題について重点的に取り上げるとともに、学校教育現場における指導の在り方の事例を協議するなど、内容の充実を図る。</p> <p>なお、研修の欠席理由はやむを得ない理由が大半であるが、欠席校については研修内容のフォローをするなどの対応を適宜行っていく。</p>	1	C
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、オンライン研修となったが、計画通り年間2回の研修を実施した。また、2回の参加人数の合計は197名であった。</p>	<p>目標値のとおり2回の研修を計画している。集合での研修を予定しているが、社会情勢に応じて、オンラインでの研修を実施する。</p>	2	A

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略1 豊かな心の育成

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動 3	教育指導課	道徳授業地区公開講座実施の小・中学校の割合	%	実績値	100	7.7	33.7			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	8%	34%	-	-	-
活動 4	学務課	自然教室における各学校の体験活動数の合計(野菜の収穫、日光彫、田植え・稲刈り、笹団子づくり、磯の生物観察、文化遺産見学、ハイキング等)	回	実績値	905	205	525			
				目標値	-	905	905	905		905
				達成率	-	23%	58%	-	-	-

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略1 豊かな心の育成

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年度においても計画通りに実施できなかった学校が数多くあった。</p> <p>しかし、授業公開や意見交換会の代替として、保護者や地域住民等に便りや学校ホームページ等を通して、道徳教育に関する情報発信等を行っている。</p>	<p>社会情勢にもよるが、感染症対策を十分に講じた上で、道徳授業を公開し、保護者や地域と道徳教育に関する意見交換を行うことで、学校、家庭及び地域社会の連携を図る。</p>	3	D
<p>体験学習数は、525回(鋸南204、日光244、魚沼77)と目標を下回った。コロナの影響により、1泊2日に減泊したためと考えられる。</p>	<p>体験活動数は目標値を下回ったものの、児童生徒の満足度は高く、体験活動数だけではなく、より充実した体験活動を実施することが重要であることがわかる。</p> <p>今後は、関係機関と連携し、「環境学習」や「食育」「地元の方との交流」など、多種多様な体験活動を実施していく必要がある。</p>	4	D

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略1 豊かな心の育成

【点検・評価委員による評価】(学齢期)									
全体評価	今後の期待・要望								
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>評価(助言)を積極的に反映した。(反映率:70%程度) コロナ禍の中での研修会・公開講座・体験活動は様々な制約があったと推察されるが、事業の持ち方や活動の仕方の工夫が見られた。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>いくつかの取組により戦略として成果は概ね出ているが、さらなる努力が必要である。</p> <p>成果指標1及び2は目標値を上回るとともに、道徳教育研修会の実施回数について目標を達成している。</p> <p>人権教育研修会の人数、公開講座の実施回数、体験活動は目標値を大きく下回ったものの、コロナ禍の厳しい条件の中での実施ということで致し方ない面を考慮する必要がある。</p> <p>コロナ禍が続く中、オンラインの実施の積極的な検討や、実施回数だけでなく参加者の満足度の指標を参考にしていくことも考えられる。</p> <p>【各取組みが戦略の方向性に沿ったものか】</p> <p>各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も適切であるため推進していく方がよい。</p> <p>人権尊重の意識の向上を図るための人権教育推進に向けた教員研修会の開催、子どもたちの道徳性の豊かな心を育むための道徳教育の研修会の開催、自然教室などの子どもたちの豊かな体験活動の推進など、各取組は教員の指導力向上と子どもたちの豊かな体験の両面からの活動で、方向性に沿った効果的な取組と評価できる。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>優れた取組みがいくつかあり、効果的である。 各取組は戦略の方向性に合致していること、成果指標として目標値を上回っていることから、児童生徒にとって効果的に機能していると考ええる。</p>	<p>新型コロナの感染拡大が続いている状況の中、令和3年度では成果指標の目標値を上回るなど、取組の成果が着実に上がっていると考える。</p> <p>引き続きコロナ禍の厳しい条件の下ではあるが、感染防止に努めながら各種研修会や体験活動の実施に取り組んでもらいたい。 その際、研修会等について可能なものはオンラインの実施の検討を進めて欲しい。</p>								
全体評価レーダーチャート									
<p>観点1: 5 観点2: 4 観点3: 6 観点4: 5</p> <p>全体評価 B</p>									
<table border="1"> <tr> <td>【観点1】 助言・今後の期待への反映率</td> <td>【観点2】 目標・成果の達成状況</td> <td>【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか</td> <td>【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </table>	【観点1】 助言・今後の期待への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か	5	4	6	5	
【観点1】 助言・今後の期待への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か						
5	4	6	5						

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

施策1	児童・生徒の心身の健全な発達の支援	記入所属	教育指導課 学務課 おいしい給食担当課 子ども政策課 子ども施設指導・支援課 就学前教育推進担当課
戦略2	健やかな体の育成		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6	
				男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子	男子	女子		
成果1	学務課	小児生活習慣病予防健診結果における管理不要率(中学2年生) ※令和4年度点検及び評価より男女別に変更した。	%	実績値	77	74.9	78.8	67	/	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	77.3	80.2	70.7	80.8	71.4	/	/	82.1	72.8	
				達成率	-	97%	98%	95%	-	-	-	-	-	-	
成果2	子ども政策課	むし歯のある就学前児童(年長児)の割合 *低減目標	%	実績値	33.1	29.3	23.9	/	/	/	/	/	/	/	
				目標値	-	32.3	29	28	/	/	28	/			
				達成率	-	110%	121%	-	-	-	-				
成果3	学務課	むし歯のある児童・生徒の割合 *低減目標	%		小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
				実績値	43	33	38.7	30.9	38	30.8	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	41.8	32.7	38.7	30.9	38	30.8	/	/	36
達成率	-	-	108%	106%	102%	100%	-	-	-	-	-	-			
成果4	学務課	「足立区学力定着に関する総合調査」で「朝と夜、歯みがきをしていますか」に「朝と夜している」と回答した割合【学務課】(令和4年度新規追加指標)	%		小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
				実績値	-	-	-	-	76.1	86.6	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	-	-	75	86	76.1	86.6	/	/	77
達成率	-	-	-	-	101%	101%	-	-	-	-	-	-			

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

めざす方向性	<p>足立区の子どもの健康状態については改善傾向が見られるものの、むし歯被患率や小児生活習慣病の有所見者率は依然として高く、一層の改善に向けた取り組みが必要です。今後は、保健教育の一層の充実を通じて、児童・生徒が身近な生活における健康に関する知識を身につけることや、必要な情報を収集し、適切な意思決定や行動選択を行い、健康な生活を実践する力を育成していきます。</p> <p>幼い頃から楽しく体を動かす体験や様々な動きを経験することにより、生涯にわたって積極的に運動・スポーツに親しむ習慣や意欲、能力を育みます。加えて、運動を通じて体力の向上を図るとともに、望ましい食習慣など健康的な生活習慣を形成する取り組みを積極的に進めます。</p>
--------	---

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
<p>R3年度の健診結果は、目標値を下回る結果となった。特に血清脂質の項目で、所見がある生徒が多く、有所見者割合は前年度より増加、特に女子は3ポイント増加した。</p> <p>また、生活アンケート結果より、体育授業以外での運動の減少、スクリーンタイムの増加、朝食の欠食があると有所見の割合が増加する傾向がみられた。</p>	<p>新型コロナウイルスの影響も否定できないが、運動機会が減少し、スクリーンタイムが増加しているため、年々肥満傾向の子どもたちが増えているという課題がある。</p> <p>学校保健行動計画に基づき、子どもたちが基本的な生活習慣を身につけられるよう学校での保健指導や、事後講演会・個別相談の事業を充実させていく。</p>
<p>新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、施設での給食後の歯みがきの再開が進んでいないため、むし歯の増加が懸念されたが、これまでの取り組みの成果が見られ、むし歯のある子の割合は減少した。</p> <p>昨年度から幼稚園にも歯科衛生士が訪問し、コロナ禍での歯みがきやうがい仕方について歯科指導を行うことができたことは今後の結果につながっていくと考える。</p>	<p>むし歯の多いお子さんが通う施設は、一定の地域に多いことから、地域の施設等に向けたアプローチの手法が課題となっている。特にむし歯の多い施設については、歯科衛生士が歯みがき指導や家庭に向けた啓発を、実施・支援をしていく。また、近隣園に波及させる方法も構築していく。</p>
<p>小学校、中学校ともに、むし歯のある児童・生徒は年々減少してきており、目標値を達成することができた。</p> <p>成果2の指標分析にあるように、むし歯のある未就学児が減少し、就学後も歯・口腔の健康習慣が定着している成果と考える。</p>	<p>むし歯のある子どもの割合は年々減少傾向にあるものの、足立区は東京都平均を上回っている現状がある。引き続き、学校歯科医や養護教諭、衛生部等関係部署と連携し、歯科保健の取り組みを継続していく。</p>
<p>コロナ禍による生活習慣の乱れがあるものの、目標値を達成することができた。</p> <p>学校からの働きかけだけでなく、家庭での声掛けにより、歯みがきをする習慣が定着してきていると考える。</p>	<p>引き続き、習慣的に歯みがきをするという行動選択を育成し、実績値を伸ばしていく。そのためには、歯みがき習慣を定着させるための取組みを学校ごとに実施し、むし歯のある子どもの減少を図る。</p> <p>また、各学校から提出される学校保健行動計画の実績報告により、効果的な取り組みについては全校に情報提供していく。</p>

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6				
活動1	教育指導課	養護教諭対象の研修会参加の小・中学校の割合	%	実績値	77.9	83.7	85.5	/	/	/			
				目標値	-	81.6	87.8	91.5	/	100			
				達成率	-	103%	97%	-	-	-			
活動2	学務課	貧血・小児生活習慣病予防健診受診率(中2)	%	実績値	89.5	86.6	85.8	/	/	/			
				目標値	-	90.1	90.1	90.1	/	93			
				達成率	-	96%	95%	-	-	-			
活動3	子ども政策課	年少児から給食後の歯みがき(毎日)に取り組む園の数	園	実績値	132	42	34	/	/	/			
				目標値	-	145	145	70	/	210			
				達成率	-	29%	23%	-	-	-			
活動4	学務課	給食後の歯みがき(全学年・毎日)を実施する小・中学校の割合	%	実績値	小 67 中 11	小 14.7 中 5.9	小 11.6 中 8.6	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	72.5 17.5	72.5 17.5	20 12	/	/	100 50	
				達成率	-	-	20% 34%	16% 49%	-	-	-	-	-
活動5	学務課	歯科健診でむし歯があった児童・生徒のうち、医療機関を受診した子どもの割合(令和4年度新規追加指標)	%	実績値	-	-	-	-	56.4 26.3	/	/	/	/
				目標値	-	-	-	-	50 28	58 28	/	/	61 36
				達成率	-	-	-	-	113% 94%	-	-	-	-

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
戦略2 健やかな体の育成

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>実績値は85.5%であり、目標値には届かなかったが、毎年参加者が増えている。理由として、文部科学省健康教育調査官を講師として迎え、「感染症対策」をテーマにした結果、開催前から期待の声があり、ニーズに沿った研修を設定できたためと分析する。</p>	<p>養護教諭対象の研修会参加率の向上、養護教諭のニーズに合った最新の情報を提供していく。</p>	1	C
<p>R3年度の受診率は目標値を下回り、また、年々低下傾向にある。ただ、R2年度、R3年度については、新型コロナウイルスの影響により、感染不安のため受診を控えたり、十分な事前説明ができずに受診につながらないケースが見られた。</p>	<p>説明が不十分になり、生徒や保護者に感染対策や受診の必要性について伝えられていない可能性がある。 区から配付している指導用パンフレット等を活用し、学校での健診説明を充実させていく。</p>	2	C
<p>コロナ禍において、飛沫防止対策を行いながら、給食後の歯みがきを再開した園もあるが、全体的に遅れている。特に、低年齢児は歯みがきの経験がなく、リスクも伴うため再開が遅れる傾向にある。歯みがきの難しい施設や年齢には、給食後のうがいを推奨し、むし歯予防に努めている。特に幼稚園にも初めて歯科衛生士が訪問し、各園での歯みがき指導につながった。</p>	<p>歯みがきの再開が難しい施設や年齢には、給食後のうがいを推奨し、むし歯予防に努めていく。また、感染対策チェックシートの活用を含め、安全に歯みがきを実施する方法を伝え、再開への支援をしていく。 昨年からの幼稚園への歯科指導を始めたが、新型コロナウイルスの感染拡大により、希望園を回りきることができなかったため、今年度も計画的に進めていく。</p>	3	E
<p>給食後の歯みがきを実施している学校は、小学校で減少し、中学校で増加した。新型コロナウイルスの感染対策として、実施を中止している学校が多いが、その代わりに、歯みがきではなく口をゆすぐのみとする、家庭での歯みがき促しを強化する等の取り組みがされている。</p>	<p>引き続き、学校の状況に応じて給食後の歯みがき実施を促していき、実施校の工夫点を全校に共有していく。</p>	4	E
<p>小学校は目標値を上回った。R2年度の実績値46%から約10ポイント増加している。一方、中学校は目標値を若干下回ったものの、R2年度実績23%に比べ約3ポイントの増加がみられた。 いずれも感染不安のため、歯医者への受診を控える家庭が多い中、学校で積極的な受診勧奨や個別指導を行ったことにより、概ね目標を達成することができた。</p>	<p>引き続き、学校を通じて、むし歯があった児童・生徒について医療機関への受診勧奨を行っていく。</p>	5	B

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				中2	小6	中2	小6	中2	小6	中2	小6	中2	小6	中2	小6	
成果5	おいしい給食担当課	ごはん、みそ汁、目玉焼き程度の料理を自分で作ることができる子どもの割合(中学2年生) ※小学6年生は、ごはん、みそ汁を自分で作ることができる割合	%	実績値	75	78	70	62	70	61	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	79.2	81.7	90	90	90	90	/	/	100	100
				達成率	-	-	88%	76%	78%	68%	-	-	-	-	-	-
成果6	おいしい給食担当課	給食のときに自ら一番はじめに野菜を食べる割合	%	実績値	56	57	59	62	60	59	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	63.3	64.2	70	70	70	70	/	/	100	100
				達成率	-	-	93%	97%	86%	84%	-	-	-	-	-	-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				園	小中	園	小中	園	小中	園	小中	園	小中	園	小中	
活動6	【園】子ども施設指導・支援課 【小中】おいしい給食担当課	「ひと口目は野菜から」の取り組みを実施した就学前教育・保育施設数及び小・中学校数 ※ 平成30年度 就学前教育・保育施設 142園 小・中学校 104校 ※ 令和6年度 就学前教育・保育施設 222園 小・中学校 102校	園・校	実績値	106	97	156	80	167	95	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	120	104	168	104	170	103	/	/	190	102
				達成率	-	-	130%	77%	99%	91%	-	-	-	-	-	-
活動7	おいしい給食担当課	「給食メニューコンクール」応募作品数	作品	実績値	7,072	-	4,884	-	7,214	-	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	7,100	-	7,100	-	7,300	-	/	/	7,500	
				達成率	-	-	69%	-	102%	-	-	-	-	-	-	
活動8	おいしい給食担当課	長期休み期間に「わが家のシェフになろう！」で子どもたちが実際に調理した食数	食	実績値	7,373	-	8,602	-	7,532	-	/	/	/	/		
				目標値	-	-	9,818	-	9,780	-	9,524	-	/	/	9,900	
				達成率	-	-	88%	-	77%	-	-	-	-	-		

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
<p>目標を下回った。新型コロナウイルス感染防止に伴う多くの制約の中で、家庭科授業や調理実習の実施など、食に関する学習、体験の機会が減少しており、令和2年度からさらに実績値が減少した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大防止策や黙食の徹底など、多くの制約により、児童、生徒の食に関する学習や体験の機会が減少している。</p>
<p>目標値を下回った。新型コロナウイルス感染防止に伴う多くの制約の中で、各学校にて継続した啓発を続けているが、小学校は令和2年度実績を1ポイント上回ったが、中学校は3ポイント下回った。</p>	<p>動画、リモートなどの活用により、食育、体験、啓発の機会を確保し、食への関心を高めていく。</p>

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>未実施園に対し、栄養士が巡回訪問時に実施方法等具体的な支援をしたことにより、コロナ禍の中でも昨年度より実施施設は増加し、概ね目標値を達成した。</p>	<p><課題と今後の予定> 就学前教育・保育施設での「ひと口目は野菜から」の取り組み状況としては、保育施設に比べ私立幼稚園・認定こども園での実施施設が少ない。今後は、私立幼稚園・認定こども園への働きかけを強化していく。</p>	6a	A
<p>目標値を下回った。引き続き新型コロナウイルス感染防止徹底により、取り組み方法などの制約が多い中で、ポスター掲示や給食日より、給食メモの配付、校内放送などの工夫により、令和2年度より実施校が増加した。</p>	<p><方向性> 生涯にわたる良い食習慣の定着のため、今後も就学前から子どもたちの食への関心、意識を向上させるため、おいしい給食・食育事業を強化し、「ひと口目は野菜から」のさらなる定着と実施施設の拡大を目指していく。</p>	6b	C
<p>目標値を上回り、且つ過去最高の実績となった。令和3年度は夏休み期間の短縮がなかったため、取り組む児童、生徒が増加したと分析する。</p>		7	B
<p>目標値を下回った。家庭科授業実施の後、夏休み期間中に取り組むものである。新型コロナウイルス感染拡大防止策や黙食の徹底など、多くの制約により食に関する学習や体験の機会が減少し、令和2年度よりさらに目標値を下回ったと分析する。</p>	<p>子どもの頃からの望ましい食習慣が将来の健康に繋がるため、民間企業や団体等に協力を得るなど、多様な場や機会を設け、児童、生徒の体験及び、家庭への啓発を継続し、「あだち食のスタンダード」の定着、向上を目指していく。</p>	8	C-

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
成果7	教育指導課	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」で「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好き」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	93.3	86.6	-	-	62.5	57.2	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	93.4	87	93.5	87.2	93.6	87.8	/	/	94	89
				達成率	-	-	-	-	67%	66%	-	-	-	-	-	-
				実績値	87.8	77.8	-	-	50.1	41.5	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	87.8	78	87.9	78.1	87.9	78.3	/	/	88	79
				達成率	-	-	-	-	57%	53%	-	-	-	-	-	-
成果8	教育指導課	「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の体力調査のボール投げの平均値	m	実績値	20.6	19.8	-	-	19.1	19.4	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	20.9	20	21.1	20.1	21.3	20.3	/	/	22.5	21
				達成率	-	-	-	-	91%	97%	-	-	-	-	-	-
				実績値	13	11.9	-	-	12.7	12	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	13.2	12.1	13.3	12.2	13.5	12.4	/	/	14	13
				達成率	-	-	-	-	95%	98%	-	-	-	-	-	-
成果9	教育指導課	「東京都児童・生徒体力・運動能力、生活・運動習慣等調査」で「運動やスポーツをどのくらいしていますか(学校の体育の授業は除く)」に「週1日以上運動している」と回答した割合(令和4年度新規追加指標)	%	実績値	-	-	-	-	78.7	72	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	-	-	81.6	71.6	82.4	72.7	/	/	84.6	74.6
				達成率	-	-	-	-	96%	101%	-	-	-	-	-	-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動9	教育指導課	体力向上推進計画実施の小・中学校の割合	%	実績値	100	100	100	/	/	/
				目標値	-	100	100	100	/	100
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動10	教育指導課	オリンピック・パラリンピックに関連した取り組みを実施した小・中学校の割合	%	実績値	100	100	100	/	/	/
				目標値	-	100	100	100	/	100
				達成率	-	100%	100%	-	-	-

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
<p>「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き」の項目については、「好き」と答えた児童の割合が、男子・女子ともに目標値に届いていない。原因として、コロナ禍で不要不急な外出を控え、外で遊ぶ機会が減っていること、体育の学習においても制限があり、意欲が満たされない活動があるためと考えられる。</p>	<p>感染対策を第一に考え、子ども達が運動が好きになるような取組を各学校で進めていけるよう分析を行い、教育活動の充実につなげていく。</p>
<p>成果指標8は、目標値を下回った。コロナ禍で運動不足が想定されたためと分析する。</p>	<p>令和4年度も「体力・投力向上の取組」はこれまで同様実施していくため、コロナ禍でできる最大限のことを検討し、投力向上を図っていく。</p>
<p>「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることが好き」の項目については、「好き」と答えた児童の割合が、7割に届いていないにも関わらず、コロナ禍において、週1日以上運動する目標は概ね達成できている。学校や家庭において、コロナ禍でできることが定着してきていることが考えられる。</p>	<p>令和4年度も学校や家庭において、子ども達が自主的に運動に取り組めるように、コロナ禍でできる運動を検討していく。</p>

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>目標値を達成した。コロナ禍においても、各学校で調査結果や児童・生徒の状況から「体力向上推進計画」を作成し、その計画に基づき体力向上の取組を推進することができた。</p>	<p>令和4年度も、各学校での調査結果や児童・生徒の状況から「体力向上推進計画」を作成し、その計画に基づき体力向上の取組を推進していく。</p>	9	A
<p>「足立区オリンピック・パラリンピックレガシープロジェクト」と題して、テレビ等で視聴した際の感動や驚きを表現した作品・作文・絵画・調べ学習等を子どもたちに提出してもらったところ、応募総数は13,587作品になった。</p> <p>講師を招いての講演会や体育科の授業や休み時間を活用した取組を通して子ども達の心にまさしくレガシーとして、東京2020オリンピック・パラリンピックの記憶が刻まれた。</p>	<p>東京2020大会以降も継続した取組となるための仕組みを構築し、各学校一つ以上「学校2020レガシー」として教育活動を展開できるよう取組を推進する。</p>	10	A

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1 1	教育指導課	「足立区小学生長なわ・短なわチャレンジ」の実施校の割合	%	実績値	95.6	50.7	50			
				目標値	-	96.3	51	70		100
				達成率	-	53%	98%	-	-	-
活動1 2	就学前教育推進担当課	年齢別研修のうち、集合研修(運動)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭)(令和2年度より実施) 目標値=参加職員数[※研修定員数(令和6年度:600人)の7割程度を想定]	人	実績値	-	355	367			
				目標値	-	420	420	420		420
				達成率	-	85%	87%	-	-	-
活動1 3	就学前教育推進担当課	1日1時間の運動遊びを実施している就学前施設の割合(令和4年度新規追加指標)	%	実績値	-	-	64			
				目標値	-	-	-	70		90
				達成率	-	-	-	-	-	-

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>目標値を下回った。長なわはコロナ禍により待ち時間に密状態になってしまうため、実施を見送った学校が多かったことが要因と分析する。</p>	<p>令和4年度も区内共通の達成目標を設け、それぞれの目標を達成した児童や学校を表彰する。「長なわ」については、記録を区のホームページで公表し、児童の体力向上に加え、意欲喚起を行っていく。</p>	11	C-
<p>私立園の多くでは専任の講師を雇用しており、保育者が「運動遊び」について直接指導する施設が少ないと思われる。そのため、「集合研修(運動)」への関心が低く目標を下回る参加職員数となった。</p>	<p>「集合研修(運動)」では年齢毎の発達に応じた「運動遊び」について講義しており、保育者が普段の保育の中で活かすことができる内容である。令和4年度は研修内容をより詳細に周知したうえで参加職員を募集する。</p>	12	C-
<p>令和3年度の実績値は、64%となった。低調な結果となった理由としては、コロナ禍において、運動を行う機会が減少したことによるものと考えられる。</p>	<p>子ども達の発達段階においては、適度な運動習慣を身につけることが重要と考えられることから、各施設に1日1時間の運動遊びを実施することを推奨し、健康な体づくりを目ざしていく。</p>	13	D

第2章 評価シート

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

【点検・評価委員による評価】(就学前)									
全体評価	今後の期待・要望								
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>成果指標1を男女別に変更したり、成果指標4、9、活動指標5を追加されており、助言が反映されていると評価できる。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>成果指標1～4および活動指標1、2、5については、目標値を達成、もしくはほぼ達成していると判断できる。一方で、活動指標3、4については目標値までには大幅に開きがあるが、コロナの感染防止に伴う制約があったことが影響していると考えられる。</p> <p>成果指標5、6および活動指標8については、目標値までに若干の開きがある。コロナの感染防止に伴う制約があったことが影響していると考えられる。一方で、活動指標6、7については目標値を達成していると判断できる。</p> <p>成果指標8、9および活動指標9～11については、目標値を達成、もしくはほぼ達成していると判断できる。一方で、成果指標7については、目標値までには大幅に開きがあり、特に女子は約半数にとどまっている。活動指標12については、目標値までに若干の開きがある。</p> <p>【各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか】</p> <p>成果指標2は目標値を達成しているが、それに関連する活動指標3、4は、目標値までには大幅に開きがある。コロナの感染防止による影響も考慮しつつも、成果指標とのつながりを再検討し、活動指標の項目を増やすなどの工夫が必要だと考えられる。</p> <p>一方、成果指標7は目標値までには大幅に開きがあるが、それと関連する活動指標9～11は、目標値を達成、もしくはほぼ達成していると判断できる。運動に肯定的な気持ちを持てることは重要であることから、活動指標の項目については、成果指標とのつながりを再検討する必要があると考えられる。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>①健康な生活を実践する力 児童・生徒が健康に関する知識を身に付け、自ら必要な情報を収集し、適切な意思決定・行動選択を行う力を育成することを目指していることは評価できる。</p> <p>②望ましい食習慣 食事(給食)についても、健康への意識をもち、児童・生徒が自ら食生活を実践することを目指していることは評価できる。</p> <p>③生涯にわたって積極的に運動に親しむ習慣 体力向上に向けて、実態把握を行い、それを踏まえた推進計画の策定に取り組んでおり、一定の評価ができる</p>	<p>健康な生活について、児童・生徒が適切な意思決定・行動選択を行う力があるかどうかを確認したり、それを育成するための取り組みをより一層充実させることが重要だと考える。それは、歯磨きにおいても同様であり、取り組んでいる園において子どもが自ら取り組んでいるかどうかや、そのための保育者や教師の取り組み方についても視点が必要だと考える。</p> <p>食習慣についても、「食べることが楽しい」「人と食べることが楽しい」という、生きていくうえで重要な感覚を持てるかどうかも重要であるため、「家族や友達と一緒に」という視点も必要だと考える。</p> <p>運動習慣については、児童・生徒が身体を動かすことの楽しさを感じ、自ら運動する意欲が引き出されることを重視した事業が重要だと考える。</p>								
	<p>全体評価レーダーチャート</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>【観点1】 助言・今後の期待への反映率</th> <th>【観点2】 目標・成果の達成状況</th> <th>【観点3】 各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか</th> <th>【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	【観点1】 助言・今後の期待への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か	5	4	5	5
【観点1】 助言・今後の期待への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取り組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か						
5	4	5	5						

施策1 児童・生徒の心身の健全な発達の支援
 戦略2 健やかな体の育成

【点検・評価委員による評価】(学齢期)	
全体評価	今後の期待・要望
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>評価(助言)を積極的に反映した。(反映率:50%程度) 歯磨き、給食・調理実習、運動などコロナ禍において感染予防策をとりながら実施することが難しい取組が多かったと推察される。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>いくつかの取組により戦略として成果は概ね出ているが、さらなる努力が必要である。</p> <p>成果指標1、5、6、7、8が目標値を下回るなど、成果指標の半数以上が目標値を下回ってしまった。また活動指標も半数以上が目標値を下回ってしまった。 ほとんどがコロナの感染拡大による影響で取組に制約があったことによるものと、やむを得ない面も考える。</p> <p>コロナ禍の中での難しい状況の中、感染防止に努めながらも手法を工夫し取り組んでほしい。</p> <p>【各取組みが戦略の方向性に沿ったものか】</p> <p>各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も概ね適切である。 子どもたちが健康な生活を実践する力を身につけるため、養護教諭の保健指導等の指導力の向上や予防検診等の現状把握に取り組んでおり、方向性に沿った取組が行われている。</p> <p>おいしい給食・食育事業は効果的な取組であると評価できる。この取組の中で生涯にわたる食習慣の定着と合わせ、食べ物をつくる人への感謝の心も培うようにしたい。</p> <p>体力向上に向けて、各種調査による実態把握とそれを踏まえた体力向上に向けた推進計画の策定に取り組んでおり、方向性に沿った取組が行われている。各学校で計画に基づき着実に推進されるよう必要な支援を続けて欲しい。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>優れた取組みがいくつかあり、効果的である。 戦略の方向性に合致した各取組により、成果指標として目標値を上回ったものもある。一方、下回ったものもコロナの影響と考えられることから全体的には児童生徒にとって効果的に機能していると考ええる。</p>	<p>新型コロナの感染拡大が続いている状況の中、令和3年度の諸調査では成果指標の目標値を下回るものが多く見受けられるなど、取組の成果が数値に反映されているとは言えない状況と考える。</p> <p>引き続きコロナ禍の厳しい条件の下ではあるが、感染防止に十分に努めながら手法を工夫するなどして取り組んでもらいたい。</p>

施策 4 快適に学べる教育施設の整備と運営の充実

戦略 1 安全で環境に優しい施設整備	43
戦略 2 適正規模・適正配置	49
戦略 3 学校運営支援	53
戦略 4 就学環境の整備	61

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略1 安全で環境に優しい施設整備

施策4	快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実	記入所属	中部地区建設課 東部地区建設課 西部地区建設課
戦略1	安全で環境に優しい施設整備		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
成果1	中部地区建設課	令和2～6年度までの全体保全工事 予定校12校のうち、全体保全工事が 完了した学校の割合(令和2年度より 指標名変更)	%	実績値	-	0	42			
	東部地区建設課			目標値	-	-	50	58		100
	西部地区建設課			達成率	-	-	84%	-	-	-
成果2	中部地区建設課	トイレ洋式化率	%	実績値	61	75.5	86.3			
	東部地区建設課			目標値	-	64.2	84.6	88.1		88.1
	西部地区建設課			達成率	-	118%	102%	-	-	-
成果3	中部地区建設課	教室照明のLED化率	%	実績値	22.1	30.8	42.7			
	東部地区建設課			目標値	-	27.2	44.7	54.9		73.5
	西部地区建設課			達成率	-	113%	96%	-	-	-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動1	中部地区建設課	各年の保全工事対象校のうち、工事 予定工程が完了した割合	%	実績値	100	0	89			
	東部地区建設課			目標値	-	100	100	100		100
	西部地区建設課			達成率	-	0%	89%	-	-	-
活動2	中部地区建設課	設備点検を実施した学校の割合	%	実績値	100	100	100			
	東部地区建設課			目標値	-	100	100	100		100
	西部地区建設課			達成率	-	100%	100%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
戦略1 安全で環境に優しい施設整備

めざす方向性	改築による施設更新や保全工事による長寿命化、設備更新等を計画的に実施することにより、学習・防災機能の両面から快適で安全・安心な施設に整備していくとともに、照明や冷暖房等の設備機器の高効率化などを通じて環境対策に取り組んでいきます。
--------	---

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
令和3年度は、3校(千寿青葉中学校、綾瀬小学校、江北・高野小学校統合校)の改築および新築工事が予定どおり完了したが、全体保全工事完了予定校3校(弘道第一小学校、澁江第一小学校、栗島小学校)のうち、1校(栗島小学校)の校庭改修工事が入札不調により翌年度実施となったため、目標値を下回る結果となった。	<p>児童・生徒の急増により昭和40年代に建築された学校施設の更新時期を迎え、莫大な更新需要が一定期間に集中する状況となっている。</p> <p>このため、更新費用の平準化を図るため令和3年3月に「学校施設の個別計画」(長寿命化計画)の策定を行い、計画的な改修を行うこととしているが、入札不調等により計画に遅れが生じた際は、学校運営への影響を最小限に留める対応を図り、教育環境の向上を図っていく。</p>
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い令和2年度実施予定であったが、次年度実施とした30件(小21、中9)の改修工事を実施、実績値は目標値を若干上回り、計画当初の最終目標数値80%を超え、順調な進捗状況となっている。	<p>平成29年度より取組みを開始したトイレ改修計画は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う工事実施の順延が生じたが、令和4年度が最終年度となる。</p> <p>今後は、更なる教育環境の向上を図るため、校舎外トイレの洋式化等について、検討を行っていく。</p>
令和3年度末現在、全小学校68校中28校、全中学校35校中16校の教室LED化が完了し、実績値は42.7%(44/103)となっている。目標値を若干下回った事由は、数年以内の改築予定校および他工事との兼ね合いによる工事延期によるものである。	<p>環境に配慮した学校づくりを推進するため、教室照明のLED化を推進し、学校施設における省エネルギー化を図っていく。</p> <p>なお、全小・中学校の教室照明LED化は、令和10年度を目標としている。</p>
令和4年度には、小学校11校、中学校1校の教室照明LED化を予定、目標値は令和6年度の目標値を上回る54.9%(56/102)見込みとなり、全体の進捗状況は順調である。	

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
令和3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い順延とした令和2年度実施予定であった5校(栗島小学校、澁江第一小学校、弘道第一小学校、北三谷小学校、舎人小学校)の全体保全工事を実施予定としていたが、1校(栗島小学校)の校庭改修工事が入札不調により再度次年度実施となったため、達成率は100%を下回った。	新型コロナウイルス感染症拡大に伴う全体保全工事順延を反映させ、令和3年3月に策定した「学校施設の個別計画」(長寿命化計画)に基づく保全工事を計画的に実施することとし、令和4年度に見直しが見込まれている中期財政計画への反映を図っていく。	1	C-
令和3年度は、改築に伴うリース仮設校舎を使用した綾瀬小学校、千寿青葉中学校を除く、小学校68校、中学校34校全校の設備点検を実施し、実績値、達成率ともに100%であった。	安心・安全な教育環境の維持・改善を図るため、引き続き全小・中学校の設備について、安全に運転できるよう点検を行うとともに、迅速な不具合対応を実施していく。	2	B

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略1 安全で環境に優しい施設整備

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動3	中部地区建設課	維持補修工事により安全を確保した学校の割合	%	実績値	100	100	100		
	東部地区建設課			目標値	-	100	100	100	
	西部地区建設課			達成率	-	100%	100%	-	-
活動4	中部地区建設課	体育館へのエアコン設置完了校の割合	%	実績値	1	100	100		
	東部地区建設課			目標値	-	17.5	-	-	100
	西部地区建設課			達成率	-	571%	-	-	-
活動5	中部地区建設課	トイレ改修対象校のうち、改修を完了した学校の割合 (平成30年度 32.8%=22校/67校)	%	実績値	32.8	56.7	94		
	東部地区建設課			目標値	-	44	94	100	100
	西部地区建設課			達成率	-	129%	100%	-	-
活動6	中部地区建設課	太陽光発電装置の導入校数	校	実績値	17	17	20		
	東部地区建設課			目標値	-	18	20	21	22
	西部地区建設課			達成率	-	95%	100%	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略1 安全で環境に優しい施設整備

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>児童・生徒の安全を確保するため、学校長権限による小破修繕を学校配付予算にて実施するとともに、学校長権限を越える修繕案件については、中部・東部・西部地区建設課の工事として実施し、実績値、達成率ともに100%であった。</p>	<p>児童・生徒の安全を図るため、引き続き設備上の不具合等に迅速に対応し、教育施設の安全性確保に努めていく。</p>	3	B
<p>令和2年度中に既体育館エアコン設置校及び体育館エアコンが設置されているリース仮設校舎を除く、全ての小・中学校体育館へのエアコン設置が完了したため、実績値は100%となっている。</p>	<p>令和2年度に全小・中学校への体育館エアコンの設置が完了しているため、今後は機器の不具合等に迅速に対応し、教育環境の維持に努めていく。</p>	4	B
<p>新型コロナウイルス感染症拡大に伴い次年度実施とした令和2年度トイレ改修計画対象校の工事について、令和3年度に全件改修工事を実施したため、改修完了校の割合は、修正後の目標値と同数となった。なお、令和4年度は4校の改修工事を実施することにより、すべての改修計画校の工事が完了するため、目標値は100%とした。</p>	<p>令和4年度に4校の改修工事を実施することにより、改修計画校67校全ての工事が完了となる予定であるが、やむを得ない事情等により、工事の延期等が必要な状況が発生した際は、学校運営への支障を最低限に留めるよう対応していく。</p>	5	B
<p>令和3年度は、3校(千寿青葉中学校、綾瀬小学校、江北・高野小学校統合校)の改築・新築校に太陽光発電装置を設置し、目標値と同数となった。</p> <p>なお、令和4年度は、新築校1校(北鹿浜・鹿浜西小学校統合校)に太陽光発電装置を設置予定であるため、目標値は1増の21とした。</p>	<p>環境に配慮した学校づくりを推進のため、改築の際は引き続き太陽光発電装置の導入を図っていく。</p>	6	B

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略1 安全で環境に優しい施設整備

【点検・評価委員による評価】									
全体評価	今後の期待・要望								
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>評価(助言)を積極的に反映した。(反映率:70%程度) コロナ禍の中での工事の延期など制約があったものの、翌年度着実に実施に移すなど、事業の持ち方や活動の仕方の工夫が見られた。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>優れた取組が多く、戦略の目標達成に向け、成果が出ている。 成果指標3つのうち2つが目標値を下回ったものの、一部、入札不調や工事延期などによるものでおおむね順調に達成していると考ええる。</p> <p>活動指標7つのうち6つが目標値を達成しており、残りの一つも入札不調で次年度に反映される予定で、順調に達成していると考ええる。</p> <p>【各取組みが戦略の方向性に沿ったものか】</p> <p>各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も概ね適切である。 計画的な施設更新、空調やトイレ等の整備や環境対策に配慮した取組などは子どもたちが快適で安全・安心な環境の中で学習できることを目指したもので、戦略の方向性に沿った効果的なものと評価できる。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>優れた取組が多くあり、効果的である。 施設更新、空調やトイレ等の整備やLED化など環境対策に配慮した取組は、子どもたちが快適に学ぶ環境を整備する上で効果的なことと評価できる。</p>	<p>子どもたちが快適で安全・安心な環境の中で学習できるよう、今後とも計画的な施設更新、空調やトイレ等の整備や環境対策に配慮した取組など計画的・継続的に整備を進めて欲しい。</p>								
	<p>全体評価レーダーチャート</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【観点1】 今後の期待・要望への反映率</th> <th>【観点2】 目標・成果の達成状況</th> <th>【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか</th> <th>【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>	【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か	5	6	5	6
【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か						
5	6	5	6						

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略2 適正規模・適正配置

施策4	快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実	記入所属	学校施設管理課
戦略2	適正規模・適正配置		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
成果 1	学校施設 管理課	全小・中学校に占める「適正規模校」 の割合	%	実績値	64.4	62.5	58.7			
				目標値	-	64.7	62.5	64.1		66
				達成率	-	97%	94%	-	-	-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動 1	学校施設 管理課	統合地域協議会を隔月で開催した 割合	%	実績値	100	50	41.7			
				目標値	-	100	50	66.7		100
				達成率	-	50%	83%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
戦略2 適正規模・適正配置

めざす方向性	義務教育という大切な時期に、適正な児童・生徒数の集団生活の中で、互いに認め合い、助け合い、競い合いながら成長できる教育環境を整えることが、人間力の育成と学力向上の両面において大切です。 小・中学校の児童・生徒数を適正な規模にし、教育環境の向上を図る適正規模・適正配置事業を今後も計画的に推進していきます。
--------	---

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
令和3年度は3.8ポイントの減となったが、概ね目標どおりであった。実績値が減少した主な原因は、児童・生徒数の減少により、適正規模だった学校が小規模校になってしまったためである(小学校69校に占める適正規模校の数は、前年度の48校から43校と5校減少。中学校35校に占める適正規模校の数は、前年度から1校増加して18校。小・中学校計104校に占める適正規模校の数は61校)。	児童・生徒数の減少により、現在は適正規模校であってもやがて小規模校になってしまう学校が出てくる。今後も適正規模・適正配置のガイドラインに基づき適正規模化を進めることで、教育環境の向上を図る。 一方で、少人数学級に関して依然として流動的な要素があることなどから、新たな地域で統合による適正規模化を拙速に進めることは妥当ではなく、当面は様々な情報収集に努めて内部的な研究・検討を継続していく。

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
新型コロナウイルス感染症の拡大によるまん延防止等重点措置等により、統合地域協議会を予定どおり開催することができなかつたため、目標を下回った(江北小と高野小の統合地域協議会は2回(うち1回は役員会)、北鹿浜小と鹿浜西小の統合地域協議会は3回)。 協議会の開催回数は少なかつたが、江北小と高野小は予定どおり統合することができた。北鹿浜小と鹿浜西小についても校歌の制作が令和4年度にずれ込んだが、校名案と校章案の選定までは終了しており、概ね順調に進んでいる。	協議会設置当初は校名や校章、校歌などの統合に伴う課題が多く、頻繁に(隔月程度のペースで)開催する必要があつたが、課題が整理されていくにつれてその必要はなくなっている。 さらに、開催時期については新型コロナウイルス感染症拡大の状況も十分に踏まえたうえで、慎重に検討しなければならない。 こうした中で、令和3年度の開催数は目標より少なかつたが、江北小と高野小は予定どおり統合し、北鹿浜小と鹿浜西小は令和5年4月の統合に向けて順調に進んでいる。 よって隔月での開催には拘らず、必要に応じて適宜協議会を開催する。	1	C-

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略2 適正規模・適正配置

【点検・評価委員による評価】									
全体評価	今後の期待・要望								
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>評価(助言)を積極的に反映した。(反映率:70%程度) 児童生徒数の減少の中にあつて「適正規模校」としての維持に努めており、適切に反映されたと考える。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>いくつかの取組により戦略として成果は概ね出ているが、さらなる努力が必要である。</p> <p>成果指標1はわずかに目標値を下回つたが、児童生徒数の減による適正規模校が小規模校になったとの理由であり、概ね達成していると考え。</p> <p>活動指標も目標値を下回つたが、協議会での協議がおおむね順調に進んでいることから、必ずしも隔月にこだわることなく、円滑に協議が行われ進捗していくことを重視すべきと考える。</p> <p>【各取組みが戦略の方向性に沿つたものか】</p> <p>各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も概ね適切であるため推進していく方がよい。</p> <p>小学校の統合等の実施計画に基づき協議会を設置して協議を進めながら、適正規模・適正配置に向けた取組を進めており、方向性に沿つたものと評価できる。</p> <p>適正規模・適正配置については、児童生徒の推移や推計、近隣住民のニーズなどを踏まえることが必要で、一定の期間を要するものであることから今後も丁寧な検討が望まれる。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>優れた取組みがいくつかあり、効果的である。 適正な児童生徒数の集団規模の中で教育活動が行われるよう学校の規模や教育環境を整備することは、子どもたちにとって効果的なものと評価できる。</p>	<p>学校を適正規模校として維持することは、児童生徒数が減少又は変動する中で難しい面があるが、今後とも、適正な児童生徒数となるよう教育環境の向上に取り組んでもらいたい。</p> <p>統合地域協議会については、協議会の隔月開催のような回数にこだわることなく協議会の持ち方を工夫し協議が進捗することを重視すべきと考える。</p>								
	<p>全体評価レーダーチャート</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【観点1】 今後の期待・要望への反映率</th> <th>【観点2】 目標・成果の達成状況</th> <th>【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿つたものか</th> <th>【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">4</td> <td style="text-align: center;">6</td> <td style="text-align: center;">5</td> </tr> </tbody> </table>	【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿つたものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か	5	4	6	5
【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿つたものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か						
5	4	6	5						

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略3 学校運営支援

施策4	快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実	記入所属	教育政策課 学力定着推進課 教育指導課 学校支援課
戦略3	学校運営支援		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
成果1	学校支援課	「足立区学力定着に関する総合調査」で「今住んでいる地域に貢献できるような大人になりたい」に肯定的な回答をした小・中学生の割合(令和元年度より実施)	%	実績値	-	R1:63.4	65.2	/	/	/
				目標値	-	-	65	67	/	70
				達成率	-	-	100%	-	-	-
成果2	教育指導課 学校支援課	教員の1年間の在校等時間の総時間から東京都条例等で定められた勤務時間の総時間を減じた時間が360時間以下である教員の割合(「足立区立学校における教員の働き方改革実施方針」に基づく)	%	実績値	-	42.5	44.1	/	/	/
				目標値	-	-	54	56	/	100
				達成率	-	-	82%	-	-	-
成果3	教育政策課	小学生一人あたりの本の年間貸出数	冊	実績値	30	39.7	40.7	/	/	/
				目標値	-	31	33	34	/	36
				達成率	-	128%	123%	-	-	-
成果4	教育政策課	中学生の学校図書館の利用割合(1ヶ月の延べ利用者数÷生徒数)	%	実績値	141	97.6	85.7	/	/	/
				目標値	-	146	116	130	/	170
				達成率	-	67%	74%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
戦略3 学校運営支援

めざす方向性	<p>児童・生徒を取りまく教育環境を整え、山積する教育課題を解決し、今後の厳しい社会を生き抜く力を児童・生徒に育むためには、学校と家庭、地域、行政が相互に連携・協働し、児童・生徒の教育活動の充実に努めていく必要があります。</p> <p>一方、教員の働き方改革や業務改善、勤務時間管理の徹底を進め、教員が子どもと向き合う時間の確保に向けた取り組みも不可欠です。</p> <p>児童・生徒がより豊かで充実した学校生活を送れるよう、より効率的で効果的な学校運営の実現に向けた施策を展開していきます。</p>
--------	---

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
<p>令和3年度調査結果によると小5から中3で肯定的な回答をした割合は65.2%であり、目標を達成した。</p> <p>地域の方があいさつ運動や花壇作りなど、コロナ禍でもできる活動に取り組み、子どもたちに地域と学校に貢献する姿を見せ続けた結果である。</p> <p>なお、肯定的な回答をした割合の内訳は小学校71.2%、中学校60.5%であり、学年が高くなるほど肯定的な回答をした割合が低くなっている。</p>	<p>コロナ禍において地域活動の実施が困難な状況が続いているが、引き続き、開かれた学校づくり協議会の活動支援やコミュニティ・スクールの設置拡大に取り組みすることで、子どもたちが地域の方々の献身的な活動に触れる機会を増やしていく。</p>
<p>出退勤システム導入により、各教員が出退勤時刻が把握できるようになり、教員の働き方改革の意識が向上したことや会計年度任用職員(副校長補佐、スクール・サポート・スタッフ、学習支援員、学校事務専門員Ⅱ、中学校生活指導員、部活指導員)を配属したことによる負担軽減により、前年度実績値より1.6ポイント改善した。</p>	<p>約56%の教職員が年間360時間超の時間外勤務をしているため、会計年度任用職員を配属してさらなる負担軽減と教職員への時間外勤務削減の意識向上を図り、目標達成を目指していく。</p>
<p>目標を上回った。緊急事態宣言や蔓延防止措置等により、学校図書館の活用に制限があった中で児童の一人あたり貸出冊数は微増となった。学校図書館支援員と学校が連携して、工夫した図書館内の展示や装飾、学校独自のイベント等を実施した成果と考える。</p>	<p>図書の貸出を学校図書館支援員の勤務日に限定している学校もあるため、児童がより多くの本に触れる機会が増えるよう、教員や図書委員での貸出対応を積極的に行うよう学校に働きかけていく。</p>
<p>目標を下回った。新型コロナウイルス感染症の対策として、授業利用や休み時間の人数制限を行っている学校が多いことから、利用割合は減少した。</p>	<p>生徒が利用したくなる魅力的な学校図書館づくりを進めるため、研修や職員・指導主事の巡回による学校図書館支援員の資質向上に取り組む。</p> <p>また、利活用の進んでいる学校の好事例を他校へ横展開することなどにより、学校間格差の平準化に努める。</p>

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略3 学校運営支援

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	学校支援課	開かれた学校づくり協議会主催・共催事業の実施回数	回	実績値	2,601	1,007	369			
				目標値	-	2,668	1,600	1,600		3,000
				達成率	-	38%	23%	-	-	-
活動2	学校支援課	開かれた学校づくり協議会型コミュニティ・スクールの設置校数	校	実績値	10	12	13			
				目標値	-	11	14	14		17
				達成率	-	109%	93%	-	-	-
活動3	学力定着推進課	学校経営計画のヒアリング実施の小・中学校の割合	%	実績値	100	50	100			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	50%	100%	-	-	-
活動4	教育指導課	一斉退校日等を設定している小・中学校の割合(令和元年度より実施)	%	実績値	-	100	100			
				目標値	-	-	100	100		100
				達成率	-	-	100%	-	-	-

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>令和3年度実績値は、前年度に引き続き大幅に減少した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で、以前のような活動ができていないことが要因である。あわせて協議会自体も自主的に事業の再開を制限していたことが大きく影響している。</p>	<p>地域に開かれ、信頼される学校づくりを進めるためにも、コロナ禍における協議会主催・共催事業については、引き続き、新型コロナウイルス感染症対策の動向を注視し、関係者、参加者等の感染予防策を徹底した上での事業の実施方法の工夫などについて働きかける。</p>	1	E
<p>令和3年4月1日に花保中学校がコミュニティ・スクール(以下、CS)を設置し、設置校は足立区全体で13校となった。</p> <p>一方、CS未設置校の多くは「CS設置予定なし」との意見である。また、CS推進校としてCS化を目指していた鹿浜第一小学校と関原小学校からは推進校解除の申し出があり、解除することとなった。今後もCS設置校の急激な増加は見込めない。</p>	<p>国では、CS設置を努力義務としている。一方、既存の開かれた学校づくり協議会(以下、開かれ協議会)が十分に機能していることやCS運営の負担感を理由に設置が進んでいない。国の動向を注視しながら、開かれ協議会のCSに対する理解を深め、不安感・負担感の解消を図ることでCS設置を促していく。</p>	2	C
<p>年度当初のヒアリングは、全校対面で実施し、各学校の現状と課題の把握、それに対する指導・助言を行った。年度後半のヒアリングは、ヒアリング期間中の新型コロナウイルス感染急拡大を受け、途中からオンラインでの実施に切り替え、全校実施することが出来た。</p> <p>また、指導主事や学力定着指導員(元校長の会計年度任用職員)による定期的な巡回指導を通して、学校運営の正常化に向けた取組を支援した。</p>	<p>今後も新型コロナウイルス感染拡大等の影響を受けないよう、対面かオンラインのどちらでも対応出来るよう準備を進める。また、学校経営計画に対する指導・助言、他校の取組事例を紹介し、横展開を図るなど、各学校の課題に応じて、学校経営を支援していく。</p>	3	B
<p>各学校において、一斉退校日等を設定し、目標を達成することができた。</p>	<p>引き続き、指導主事等の学校訪問により一斉退校日の設定状況を把握し、全校での一斉設定を維持していく。</p>	4	A

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略3 学校運営支援

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動 5	教育政策課	学校図書館支援員配置の小・中学校の割合	%	実績値	100	100	100			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動 6	教育政策課	学校図書館基本計画を策定し活用している小・中学校の割合(令和2年度より実施)	%	実績値	-	100	100			
				目標値	-	-	100	100		100
				達成率	-	-	100%	-	-	-
活動 7	教育指導課	生活指導員配置の中学校の割合	%	実績値	94	88	91			
				目標値	-	95	100	100		100
				達成率	-	93%	91%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略3 学校運営支援

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>目標を達成した。小学校は人材派遣、中学校は会計年度任用職員を1名ずつ全校に配置している。</p>	<p>【小学校】 小学校図書館支援員の派遣事業の実績・成果を検証するとともに、モデル校への直接雇用支援員の配置を進め、メリット・デメリット等の比較を行い、より良い事業形態についての検討を進めていく。</p> <p>【中学校】 指導主事・職員の巡回訪問を強化し研修内容を充実させ、学校図書館支援員としての能力向上を図っていく。</p>	5	B
<p>目標を達成した。令和2年度から運用を開始した学校図書館基本計画及び評価シートについて、全校で策定し活用している。</p>	<p>PDCAサイクルによるさらなる改善を図るため、各校が設定した目標及びそれに対する評価を適切に行っているかを検証し、学校図書館基本計画の効果的な活用を促していく。</p>	6	B
<p>実績値は91%で目標を下回った。令和3年度は、生活指導員採用希望者と学校側の需要がマッチングしなかった等の要因により、目標値が達成できなかったと考えられる。生活指導員は、各学校の適切な生活環境の維持、向上を担うため、学校運営には必要な人材であり、継続して全校へ配置できるよう、努めていく必要がある。</p>	<p>生活指導員採用希望者の募集を区のホームページ、あだち広報を通して行い、全校への配置を目指す。</p>	7	B

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略3 学校運営支援

【点検・評価委員による評価】									
全体評価	今後の期待・要望								
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>評価(助言)を積極的に反映した。(反映率:50%程度) 進んでいる活動が見られる一方で、改善が未だ進んでいない活動も見受けられる。引き続き、着実な取組を推進してほしい。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>成果指標1については目標値を達成し評価できる。成果指標2については前年度よりは改善したものの目標値には届かず、更なる業務改善など働き方改革の一層の推進が必要である。</p> <p>学校図書館の利用や読書指導については、学校図書館支援員の配置や学校図書館基本計画の策定・活用は進んでいるものの、成果指標4で中学校の課題が出てきた。原因を分析して積極的な利活用を進めて欲しい。</p> <p>開かれた学校づくり協議会やコミュニティスクール関係の取組は順調に進んでいるとは言えない。協議会主催事業はコロナ禍による活動の制限があったことは理解できるものの、目標値を大きく下回った。コミュニティスクールの進まない理由の分析を踏まえ、具体的にどのように検討を進めいくのかを明らかにしてほしい。</p> <p>【各取組みが戦略の方向性に沿ったものか】</p> <p>各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も概ね適切である。 学校と地域との連携・協働により学校運営体制の強化の視点から、コミュニティスクールの拡大が必要である。</p> <p>教員の働き方改革は、教員が子どもと向き合う時間を確保し教育活動に専心して取り組むことができるようにするためにも極めて重要な課題である。</p> <p>学校図書館を利活用した学習指導や読書指導が求められており、学校図書館支援員の配置や学校図書館基本計画の活用は重要な取組である。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>優れた取組みがいくつかあり、効果的である。 教師の働き方改革・業務改善は、教育活動への専念や児童生徒に向き合う時間確保という視点からも必要である。コミュニティスクールについては地域の人々と一体となって子どもの教育を考える観点から非常に有意義な制度と考える。学校図書館は、調べ学習等の学習指導、読書指導の充実のため、その利活用が求められている。いずれも児童生徒にとって効果的なものと評価できる。</p>	<p>学校と地域との連携協働のための取組として協議会事業の活性化、コミュニティスクールの設置促進を一層進めてもらいたい。働き方改革の視点から教員の負担軽減に向けた取組、学校図書館の効果的な利活用の促進を図っていただきたい。</p>								
全体評価レーダーチャート									
<p>観点1: 4 観点2: 4 観点3: 5 観点4: 5</p> <p>全体評価: C</p>									
<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>【観点1】 今後の期待・要望への反映率</th> <th>【観点2】 目標・成果の達成状況</th> <th>【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか</th> <th>【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>		【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か	4	4	5	5
【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か						
4	4	5	5						

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略4 就学環境の整備

施策4	快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実	記入所属	教育指導課 学校支援課 学務課 子ども政策課
戦略4	就学環境の整備		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
成果1	学務課	児童・生徒が関係した交通事故の件数 ※低減目標	件	実績値	13	6	15	/	/	/
				目標値	-	11	5	10	0	
				達成率	-	181%	33%	-	-	-
成果2	教育指導課	日本語適応指導の効果が見られた割合(日本語適応指導講師の所見による)	%	実績値	100	100	100	/	/	/
				目標値	-	100	100	100	100	
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
成果3	学務課	希望校に入学した児童・生徒の割合	%	実績値	99.4	97.4	99.4	/	/	/
				目標値	-	99.5	99.5	99.6	99.8	
				達成率	-	98%	99%	-	-	-
成果4	学務課	育英資金の利用者(完済・助成後)を対象にした、育英資金の利用満足度を測るアンケートで肯定的な回答をした割合(令和2年度より実施)	%	実績値	-	69	86	/	/	/
				目標値	-	-	70	90	100	
				達成率	-	-	123%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
戦略4 就学環境の整備

めざす方向性	<p>すべての児童・生徒が安全に関する資質・能力を身につけることをめざし、防災・防犯・交通安全教育を推進していきます。また、登下校の安全確保に向け保護者や地域との連携・協力による見守り体制の強化やICT機器等を活用した安全・安心確保策を講じます。</p> <p>また、児童・生徒がどのような状況にあっても、夢や希望に向かって学ぶことができる就学環境を整えるとともに、夜間中学を中心とした学び直しや必要な学習の支援が可能となるよう、生涯学習の視点から段階的に取り組んでいきます。</p>
--------	--

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性
<p>目標を達成することができなかった。区、学校、警察が連携して安全対策の取り組みを行っているが、事故を防ぐことができなかった。</p> <p>なお、通学途中の事故は小学生2件、中学生2件であった。</p>	<p>通学路合同点検等を通じて、通学路の環境を整備し、交通事故の件数の減少を目指していく。</p>
<p>月に1度、講師に提出を依頼している書類(指導の記録兼指導実績報告書)を通して、教育委員会と日本語適応指導講師、学校間で対象児童・生徒の日本語習熟度を毎月共有している。</p> <p>いずれの児童・生徒も日本語適応指導を受けることにより、一定の指導効果がみられたため、実績値を100とした。</p>	<p>話者が少ない言語(韓国語、ウクライナ語、タイ語等)の需要が高まっており、日本語適応指導講師の確保が課題となっている。</p> <p>そのため、足立区ホームページ上で引き続き講師募集を呼びかけるとともに、教育関連機関に協力を仰ぎ講師紹介を依頼する等、対策を行っていく。</p>
<p>ハード面が充実している学校や部活動が盛んな学校を中心に、希望が集中する傾向がある。中間集計公表後、希望校変更期間を設け、分散化に努めた結果、目標をほぼ達成することができた。</p>	<p>学校公開や学校情報データブック等を通じて、それぞれの学校の良さをPRできる場を提供していく。</p>
<p>高等学校等入学準備助成の対象は1,291名であり、3月末時点での回答者は491名である(回収率38%)。420名が肯定的な意見であり、利用満足度は約86%である。助成額の拡充や支給時期の早期化により、満足度の向上につながった。</p> <p>また、令和3年度の奨学金完済者は57人であり、回答者は6名である(回収率約11%)。回収率は低いものの、全員が肯定的な意見であり、利用満足度は100%である。</p>	<p>高等学校等入学準備助成は、助成額の拡充や支給時期の早期化により満足度が向上した。更なる助成額の拡充等は見込めないが、アンケートの結果を精査し、要望等も含め検討していく。</p> <p>また、奨学金完済者の満足度は高いが、アンケートの回収率は低い。回収率の増加を図るべく、回答様式の検討等を行う。</p>

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略4 就学環境の整備

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	教育指導課	セーフティ教室実施の小・中学校の割合	%	実績値	100	0	100			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	0%	100%	-	-	-
活動2	教育指導課	交通安全教室実施の小学校の割合	%	実績値	100	100	100			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動3	学務課	通学路合同点検(定期点検)の実施回数	回	実績値	17	23	24			
				目標値	-	17	25	26		17
				達成率	-	135%	96%	-	-	-
活動4	学校支援課	複数台のAED設置校の割合	%	実績値	104	104	104			
				目標値	-	104	104	103		103
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動5	教育指導課	「日本語適応指導講師」及び「日本語通級指導学級(令和2年度モデル実施)」を利用している児童・生徒数	人	実績値	154	200	100			
				目標値	-	164	170	180		215
				達成率	-	122%	59%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
戦略4 就学環境の整備

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>令和3年度は、各小・中学校でセーフティ教室を実施した。各学校では、SNS(ネット詐欺・不正アクセス・自画撮り被害・不正投稿)関係の安全教育を重点的に行い、SNSを介したトラブル等に巻き込まれないよう、児童・生徒へ改めて指導した。</p>	<p>令和4年度も引き続き、SNS(ネット詐欺・不正アクセス・自画撮り被害・不正投稿)関係の安全指導を重点的に行うほか、犯罪被害防止や非行防止等、犯罪が社会に与える影響について理解を深め、規範意識を醸成する取り組みを各小・中学校で実施する。</p>	1	A
<p>全小学校において、交通安全教室を実施し、目標を達成することができた。本来、第1・2学年が年3回、第3・4学年が年2回、第5・6学年が年1回実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年度においては第1・2・3学年が年2回、第4・5・6学年が年1回の実施となった。</p>	<p>令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、本来予定していた実施回数から変更し、第1・2学年は年2回、第3・4・5・6学年は年1回各校で実施する予定である。</p>	2	A
<p>新型コロナウイルス感染症対策により、実施を見送った学校があったため、目標を達成することができなかった。</p> <p>しかし、文科省や地域からの要望による臨時点検は、定期点検とは別に29回実施している。</p>	<p>通学路の安全を確保するため、1年度あたりの実施校を増加させ、3年に一度のペースで全校を点検していく。</p>	3	C
<p>AEDの学校への設置については、104校全校の屋外及び屋内にそれぞれ設置しており、複数台の設置は100%達成している。</p>	<p>全校への複数台設置を維持することで、区民の安全を確保しながら、緊急時に不具合等がないよう耐用年数に応じた更新をもれなく行う必要がある。</p>	4	B
<p>実績値の内訳は、日本語適応指導講師利用数84名、通級指導学級利用数は16名であり、目標値を下回った。これは、新型コロナウイルス感染症拡大により、外国籍の児童・生徒が入国できなかったことによるものと考えられる。</p> <p>令和4年度は、入国制限が緩和され、日本語適応指導講師及び日本語通級指導学級の利用を希望する児童・生徒が増が考えられることから、目標値を180人に設定した。</p>	<p>今後、入国制限が緩和された場合、話者の少ない言語(韓国語、ウクライナ語、タイ語等)を話す児童・生徒数の増が考えられる。</p> <p>今後は、話者の少ない言語を指導できる日本語適応指導講師の確保、また、通級指導学級の講師向けの研修会を実施し、さらなる日本語教育体制の充実を図る。</p>	5	C-

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略4 就学環境の整備

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動6	学務課	区立小学校に就学申請する外国人児童の割合	%	実績値	80.1	89.6	83			
				目標値	-	80.4	82	82		82
				達成率	-	111%	101%	-	-	-
活動7	学務課	夜間中学の学級数	学級	実績値	6	5	5			
				目標値	-	6	6	6		6
				達成率	-	83%	83%	-	-	-
活動8	学務課	小・中学校の新1年生が希望選択票を提出した割合	%	実績値	97.6	96.8	96.7			
				目標値	-	97.8	97.9	98		98.5
				達成率	-	99%	99%	-	-	-
活動9	子ども政策課	子育てのための施設等利用給付費受給率(幼稚園)(令和元年10月より実施)	%	実績値	-	100	100			
				目標値	-	-	100	100		100
				達成率	-	-	100%	-	-	-
活動10	学務課	育英資金制度の周知件数(「中学・高校・大学への案内」「個別相談会」「イベント会場でのパンフレット配付」等の合計件数)	件	実績値	171	187	206			
				目標値	-	179	190	210		220
				達成率	-	104%	108%	-	-	-

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
戦略4 就学環境の整備

所管による自己評価

■指標分析(達成状況・原因・その他実績等)	■課題と今後の予定、方向性	自己評価	
<p>目標を達成できた。残り約17%の外国人児童は区立以外のスクールを希望していることがわかっている。</p>	<p>自宅への就学案内の送付、あだち広報やホームページ等を通じて、外国人就学の案内を行っていく。</p>	6	B
<p>生徒数は微増したが、学級数が増えるまでには至らず、目標を達成することができなかった。</p>	<p>あだち広報やホームページ、チラシ等を通じて、夜間学級への就学の案内を行っていく。</p>	7	C-
<p>目標を達成することができなかった。希望選択票の提出がなかった場合は、学区域校を就学校に指定している。</p>	<p>リーフレットや学校情報データブック、あだち広報やホームページ等を通じて、新入学予定者への周知を行っていく。</p>	8	C
<p>幼児教育無償化により制度が変更になり、保護者の所得に関係なく申請があれば全員に補助が支給されるようになったため、受給率は100%である。</p>	<p>補助金申請書を園を経由して保護者に配布・取りまとめを依頼しているため、途中入園等、保護者からの申請漏れが無いように引き続き園に働きかけていく。</p>	5	B
<p>中学校35校、高校43校、大学7キャンパス、児童養護施設2施設に対し、募集案内や制度案内を実施した。また、SNS・情報スタンドの活用や、高校訪問による奨学金説明会の実施により、合計206件の周知を行った。</p> <p>SNSによる周知回数の増加、情報スタンド設置駅数の増加、児童養護施設への周知開始等により、周知件数が増加した結果、目標値を超えた。</p>	<p>令和4年度も引き続き、中学校、高校、大学等に対し、育英資金制度の周知を徹底する。</p> <p>しかしながら、新型コロナウイルス感染症の状況から、奨学金説明会や個別相談会の大幅な回数増は見込めない。目標達成に向け、SNS・情報スタンド等の活用を強化し、周知件数を増やしていく。</p>	10	B

第2章 評価シート

施策4 快適に学べる教育施設の整備と学校運営の充実
 戦略4 就学環境の整備

【点検・評価委員による評価】									
全体評価	今後の期待・要望								
<p>【助言・今後の期待への反映率】</p> <p>評価(助言)を積極的に反映した。(反映率:70%程度) 多くの指標で目標値を達成しており、改善が見られる。</p> <p>【目標・成果の達成状況】</p> <p>優れた取組が多く、戦略の目標達成に向け、成果が出ている。</p> <p>成果指標1の交通事故の件数が目標値を上回ってしまった。 通学路の安全点検を進めて欲しい。 成果指標3はわずか0.1ポイント目標値を下回ったが、ほぼ達成と捉えてよい。</p> <p>いくつかの活動指標が目標値に届かなかったが、いずれもやむを得ない理由と考えられ、おおむね達成と考えてよい。</p> <p>【各取組みが戦略の方向性に沿ったものか】</p> <p>各取組みが戦略の方向性に合致しており、手法も概ね適切である。 子どもたちが安全な生活を送るために、セーフティ教室、交通安全教室など学校安全への取組が強化されており、方向性に沿ったものとする。</p> <p>外国人児童生徒や外国とつながりのある児童生徒の増加に応じ、日本語指導の充実や夜間中学の設置などが求められている。これらはニーズに応じて行われるもので、十分な取組が行われていると考える。</p> <p>教育費の負担軽減について、育英資金の周知については目標値を達成している。</p> <p>【児童・生徒にとって真に効果的か】</p> <p>優れた取組みがいくつかあり、効果的である。</p> <p>セーフティ教室、交通安全教室など子どもを交通事故や犯罪から守るために必要であり、学校安全への取組を強化していただきたい。 育英資金の周知と利用満足度のアンケートにより、利用者の要望に応えるよう努めている。</p> <p>いずれも児童生徒にとって効果的なものと評価できる。</p>	<p>外国人児童生徒や外国につながる児童生徒などのニーズに応じて、学び直しや学習支援が充実するよう、今後とも取り組んでほしい。</p>								
	<p>全体評価レーダーチャート</p> <p>観点1: 5 観点2: 6 観点3: 5 観点4: 5</p> <p>全体評価 B</p>								
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>【観点1】 今後の期待・要望への反映率</th> <th>【観点2】 目標・成果の達成状況</th> <th>【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか</th> <th>【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>5</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か	5	6	5	5
【観点1】 今後の期待・要望への反映率	【観点2】 目標・成果の達成状況	【観点3】 各取組みが戦略の方向性に沿ったものか	【観点4】 児童・生徒にとって真に効果的か						
5	6	5	5						

第3章 評価シート（実績値）

本章では今年度の評価対象外である以下の3つの施策における達成状況を掲載しております。

- ・ 施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
- ・ 施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
- ・ 施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援

施策 2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み

戦略 1 教員の授業力向上 -「わかる授業」「魅力ある授業」の実現-	71
戦略 2 個に応じた学習指導・学習機会の充実……………	75
戦略 3 就学前教育の推進……………	79

第3章 評価シート(実績値)

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略1 教員の授業力向上-「わかる授業」「魅力ある授業」の実現-

施策2	確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み	記入所属	教育政策課 学校ICT推進担当課 学力定着推進課 教育指導課
戦略1	教員の授業力向上-「わかる授業」「魅力ある授業」の実現-		
めざす方向性	学校における教育活動の根幹は「わかる授業」「魅力ある授業」です。これらを実現するため、教員の授業力向上や授業改善の支援に取り組む必要があります。 従来の教員研修やOJTによる育成をはじめ、高い専門性や指導経験を備えた教員経験者による指導、授業改善ツールとしての足立スタンダードやSP表の活用と充実を図り、教員の授業力向上を支えます。 また、大型ディスプレイやタブレット型PC、デジタル教科書などの学校ICT機器等を活用し、より魅力的でわかりやすい授業を実現できる環境づくりを進めます。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6			
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中		
成果1	学力定着推進課	「足立区学力定着に関する総合調査」で「学校の授業はわかる」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	89.3	73.9	-	-	88.2	68.1	/	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	-	-	90	80	90	80	/	/	90	80	
				達成率	-	-	-	-	98%	85%	-	-	-	-	-	-	-
成果2	学力定着推進課	「全国学力・学習状況調査」における国の正答率との差(※1)	%	国	実績値	※2		-	-	4.5	-0.4	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	-	-	2	0.5	3	1	/	/	5	2	
				達成率	-	-	-	-	104%	99%	-	-	-	-	-	-	
				算(数)	実績値	※2		-	-	2.6	-2	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	-	-	1.5	0	2	0.5	/	/	3	1	
				達成率	-	-	-	-	102%	97%	-	-	-	-	-	-	
成果3	学力定着推進課	「足立区学力定着に関する総合調査」で、「グループ活動やペア活動では、自分から積極的に発言したり、みんなで意見を出し合うことができたと思う」に肯定的な回答をした割合(令和元年度より実施)	%	実績値	-	-	-	-	74.3	65.9	/	/	/	/	/		
				目標値	-	-	-	-	72.5	63.5	75	65	/	/	80	70	
				達成率	-	-	-	-	102%	104%	-	-	-	-	-	-	

※1 成果指標2の達成率の算出方法
 区正答率÷(国正答率+目標値)×100

※2 平成30年度「全国学力・学習状況調査」における国の正答率との差
 <小学6年生> <中学3年生>
 国語A 0% 国語A -1.5%
 国語B 3% 国語B -1.1%
 算数A 2.9% 算数A -2.4%
 算数B 1.4% 算数B -2.7%

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略1 教員の授業力向上-「わかる授業」「魅力ある授業」の実現-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6						
活動1	教育指導課	「足立スタンダード」実践の小・中学校の割合	%	実績値	100	100	100									
				目標値	-	100	100	100		100						
				達成率	-	100%	100%	-	-	-						
活動2	学力定着推進課	教科指導の対象となる教員が教科指導専門員から受けた指導の回数(教員一人あたり)	回/人		小	中	小	中	小	中	小	中	小	中		
				実績値	9.9	17.6	7.9	13.8	7.1	12.8						
				目標値	-	-	10	20	10	20	10	20			10	20
				達成率	-	-	79%	69%	71%	64%	-	-	-	-	-	-
活動3	学力定着推進課	英語教育アドバイザーの配置(支援)時数(小学校外国語活動アドバイザーより名称変更)	時数	実績値	13,557	14,267.5	12,033									
				目標値	-	24,646	24,451	24,255		24,941						
				達成率	-	58%	49%	-	-	-						
活動4	教育指導課	教員研修(1~4年次研修)の受講修了割合	%	実績値	84.2	91.2	97.3									
				目標値	-	86.8	93.4	97.5		100						
				達成率	-	105%	104%	-	-	-						
活動5	学力定着推進課	先進自治体への教員派遣人数	人	実績値	12	-	-									
				目標値	-	12	12	12		12						
				達成率	-	-	-	-	-	-						

第3章 評価シート(実績値)

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略1 教員の授業力向上-「わかる授業」「魅力ある授業」の実現-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
活動6	学校ICT推進担当課	教員用タブレット端末等を使用して授業を実施した教員の割合(令和元年度より実施)	%	実績値	-	-	85.4	82.1	94.3	89.5	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	-	-	80	80	100	100	/	/	100	100
				達成率	-	-	-	-	118%	112%	-	-	-	-	-	-
活動7	学校ICT推進担当課	児童・生徒用タブレット端末を使用して授業を実施した教員の割合(令和元年度より実施)	%	実績値	-	-	41	16.9	76.3	50.1	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	-	-	80	50	100	100	/	/	100	100
				達成率	-	-	-	-	95%	100%	-	-	-	-	-	-
活動8	学校ICT推進担当課	プログラミング教育の実施回数(タブレット端末使用・教員の割合)	%	実績値	-	-	80.7	94.3	68.9	97.2	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	-	-	80	80	80	80	/	/	80	80
				達成率	-	-	-	-	86%	122%	-	-	-	-	-	-
活動9	学力定着推進課	小中連携による学力向上に係る研究・研修会の実施回数	回	実績値	245		67		227		/	/	/	/	/	/
				目標値	-	245		245		245		/	/	245		
				達成率	-	27%		93%		-		-		-		

第3章 評価シート(実績値)

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略2 個に応じた学習指導・学習機会の充実

施策2	確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み	記入所属	教育政策課 教育指導課 学力定着推進課 くらしとごとの相談センター 生活保護指導課
戦略2	個に応じた学習指導・学習機会の充実		
めざす方向性	各種の学力調査結果を分析し、児童・生徒の学力実態を踏まえ、データに基づいた適切な学習指導を継続して行います。放課後や長期休業期間を活用した補習体制の充実や、学習支援等の人材配置、民間教育事業者の活用により、つまずきの解消による学力未定着層の底上げや、学力上位層のさらなる学力向上を図ります。また、全ての子どもたちが家庭環境や経済状況に左右されることなく、自分の能力・可能性を伸ばし、夢に挑戦できるよう、学びの環境整備や居場所の確保等を図ります。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6			
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中		
成果1	学力定着推進課	「足立区学力定着に関する総合調査」における小・中学校の区全体の通過率	%	国	実績値	78.4	63.1	-	-	83.1	68.1	/	/	/	/	/	
					目標値	-	-	-	-	80	70	80	70	/	/	80	70
					達成率	-	-	-	-	104%	97%	-	-	-	-	-	-
				算	実績値	79.1	59.4	-	-	84.9	68.6	/	/	/	/	/	/
					目標値	-	-	-	-	80	70	80	70	/	/	80	70
					達成率	-	-	-	-	106%	98%	-	-	-	-	-	-
				英	実績値	/	52.4	/	-	/	65.4	/	/	/	/	/	/
					目標値	/	-	/	-	/	70	/	70	/	/	/	70
					達成率	/	-	/	-	/	93%	/	-	/	-	/	-
成果2	学力定着推進課	英語チャレンジ講座の事後テスト結果が事前テスト結果を上回った生徒の割合(令和4年度より指標名変更)	%	実績値	83.5	97.8	93.5	/	/	/	/	/	/				
				目標値	-	90	90	90	/	/	90	/					
				達成率	-	109%	104%	-	-	-	-						
成果3	学力定着推進課	足立はばたき塾を受講し、第一志望の高校に進学した生徒の割合	%	実績値	67.9	78	67.9	/	/	/	/	/					
				目標値	-	80	80	80	/	/	80	/					
				達成率	-	98%	85%	-	-	-	-						

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略2 個に応じた学習指導・学習機会の充実

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	学力定着推進課	そだち指導員の年間活動時間	時間	実績値	64,908	56,208	63,324			
				目標値	-	66,232	66,894	67,556		68,880
				達成率	-	85%	95%	-	-	-
活動2	学力定着推進課	MIMの指導回数 ※ 学校数 平成30年度 69校 令和6年度 67校	回	実績値	3,450	3,105	3,450			
				目標値	-	3,450	3,450	3,400		3,350
				達成率	-	90%	100%	-	-	-
活動3	教育政策課	学習支援ボランティアの登録者数【活動件数】	人	実績値	463	267	347			
				目標値	-	452	464	476		500
				達成率	-	59%	75%	-	-	-
			回	実績値	8,404	5,153	6,090			
				目標値	-	7,800	8,100	8,400		9,000
				達成率	-	66%	75%	-	-	-
活動4	教育指導課	学習支援員配置の小学校の割合	%	実績値	100	96	97			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	96%	97%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略2 個に応じた学習指導・学習機会の充実

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動5	学力定着推進課	サマースクールを10日間以上実施した小学校の割合	%	実績値	97.1	-	0			
				目標値	-	-	100	100		100
				達成率	-	-	0%	-	-	-
活動6	学力定着推進課	英語チャレンジ講座実施延べ時間数	時間	実績値	467	467	467			
				目標値	-	467	467	467		467
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動7	学力定着推進課	英語マスター講座実施延べ時間数	時間	実績値	180	130	180			
				目標値	-	180	180	180		180
				達成率	-	72%	100%	-	-	-
活動8	学力定着推進課	中1夏季勉強合宿で、4泊5日の全行程をやり遂げた生徒の割合【参加者数 ※低減目標】	%	実績値	100	-	-			
				目標値	-	-	100	100		100
				達成率	-	-	-	-	-	-
			人	実績値	121	-	-			
				目標値	-	-	100	70		100
				達成率	-	-	-	-	-	-
活動9	学力定着推進課	足立はばたき塾の在籍率(全講座終了時)	%	実績値	81.6	96.7	89			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	97%	89%	-	-	-

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略2 個に応じた学習指導・学習機会の充実

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動 10	くらしとごとの相談センター	居場所を兼ねた学習支援の年間登録数【区内7箇所】	人	実績値	308	325	345			
				目標値	-	330	330	330		330
				達成率	-	98%	105%	-	-	-
活動 11	生活保護指導課	生活保護世帯の小・中学生のうち、塾代支援を利用して通塾している小学1年生～中学2年生の割合	%	実績値	22.6	17.8	19.3			
				目標値	-	23.8	23.8	25.3		30
				達成率	-	75%	81%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略3 就学前教育の推進

施策2	確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み	記入所属	子ども施設指導・支援課 就学前教育推進担当課
戦略3	就学前教育の推進		
めざす方向性	人間形成の基礎をつくる重要な乳幼児期において、基本的な生活習慣や学びの芽を育む取り組みを推進するとともに、教育内容を豊かにすることを通して子どもの学びの構えを育み、幼児教育から小学校教育への滑らかな移行を図ります。また、教育・保育施設の運営が適正になされるよう、計画的に指導検査や実地調査、巡回訪問、研修を実施し、教育・保育の質の維持・向上に取り組めます。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
成果1	就学前教育推進担当課	基本的な生活習慣が身についている小学1年生の割合	%	実績値	90.6	88.4	87			
				目標値	-	90	90	90		90
				達成率	-	98%	97%	-	-	-
成果2	子ども施設指導・支援課	指導検査で「文書指摘」または「口頭指導」となった項目が、次の実地調査等の際に改善されていた教育・保育施設の割合	%	実績値	100	100	100			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	100%	100%	-	-	-

施策2 確かな学力の定着に向けた就学前から義務教育期までの取り組み
 戦略3 就学前教育の推進

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動1	就学前教育推進担当課	幼児教育研修のうち、教育・保育力向上研修(集合)への参加職員数(保育士、幼稚園教諭等)(令和元年度より実施) 目標値=参加職員数[※研修定員数(令和6年度:3,000人)の7割程度を想定]	人	実績値	-	2,324	2,318	/	/	/
				目標値	-	2,100	2,100	2,100	/	2,100
				達成率	-	111%	110%	-	-	-
活動2	子ども施設指導・支援課	実地調査等をした教育・保育施設の割合(実地調査等対象施設)	%	実績値	96.5	100	99.7	/	/	/
				目標値	-	97.1	100	100	/	100
				達成率	-	103%	99%	-	-	-
活動3	子ども施設指導・支援課	「足立区教育・保育の質ガイドライン」を活用した保育実践をしている割合	%	実績値	48.1	82	85	/	/	/
				目標値	-	54.3	85	87	/	85
				達成率	-	151%	100%	-	-	-
活動4	就学前教育推進担当課	5歳児が在籍する就学前施設の内、幼保小連携活動の中であだち幼保小接続期カリキュラムを活用している園の割合【令和4年度より指標変更】	%	実績値	-	-	68.9	/	/	/
				目標値	-	-	90	90	/	90
				達成率	-	-	77%	-	-	-
活動5	就学前教育推進担当課	小学校との交流活動を実施した教育・保育施設の割合	%	実績値	86	85.8	72.6	/	/	/
				目標値	-	86.7	87.6	87.6	/	90
				達成率	-	99%	83%	-	-	-

施策 3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実

戦略 1	不登校や発達支援等の課題を抱える子どもの心のケア・悩み相談	83
戦略 2	不登校の未然防止と学校復帰・社会的自立の支援・・・	87
戦略 3	切れ目のない特別支援教育の推進・・・・・・・・・・	91
戦略 4	いじめの早期発見・早期対応・・・・・・・・・・	95

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略1 不登校や発達支援等の課題を抱える子どもの心のケア・悩み相談

施策3	不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実	記入所属	教育相談課
戦略1	不登校や発達支援等の課題を抱える子どもの心のケア・悩み相談		
めざす方向性	児童・生徒が抱える様々な悩みや課題の解決・改善を図ることができるよう、①教職員の専門的な知識・技術の習得、②各校における相談・支援体制の整備、③専門家や関係機関との連携協力に取り組み、一人ひとりに寄り添った支援を推進していきます。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
成果1	教育相談課	個別のカウンセリングや心理・知能検査等を行う教育相談により、不登校等が解決または改善した割合	%	実績値	82	84	87	/	/	/
				目標値	-	82.5	84	84.5	/	85
				達成率	-	102%	104%	-	-	-
成果2	教育相談課	学校内で支援を行うSCIにより、不登校児童・生徒が解決または改善へとつながった割合	%	実績値	72	80.1	77	/	/	/
				目標値	-	72.8	74	75	/	77
				達成率	-	110%	104%	-	-	-
成果3	教育相談課	家庭や生活環境も踏まえた支援を行うSSWiにより、不登校等が解決または改善した割合	%	実績値	34	32.7	38.7	/	/	/
				目標値	-	29	32	35	/	40
				達成率	-	113%	121%	-	-	-
成果4	教育相談課	校内委員会での協議に基づく指導により、不登校の状況が改善した児童・生徒の割合	%	実績値	37	32	40	/	/	/
				目標値	-	38.3	40	45	/	45
				達成率	-	83%	100%	-	-	-

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略1 不登校や発達支援等の課題を抱える子どもの心のケア・悩み相談

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動1	教育相談課	教育相談の人数(実数)	人	実績値	1,468	1,478	1,555			
				目標値	-	1,473	1,500	1,500		1,500
				達成率	-	100%	104%	-	-	-
活動2	教育相談課	SCの相談延べ回数(区SC・都SC合計数)	回	実績値	74,517	66,126	66,387			
				目標値	-	62,165	75,000	75,000		75,000
				達成率	-	106%	89%	-	-	-
活動3	教育相談課	SSWによる相談人数(実数)	人	実績値	363	444	473			
				目標値	-	369	400	400		400
				達成率	-	120%	118%	-	-	-
活動4	教育相談課	SSWが関係機関と連携した回数	回	実績値	304	492	460			
				目標値	-	320	340	360		400
				達成率	-	154%	135%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実

戦略1 不登校や発達支援等の課題を抱える子どもの心のケア・悩み相談

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
活動5	教育相談課	校内委員会にSSWが参加している割合	%	実績値	29	77	39.1	97.1	53.6	100	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	35	80.8	40	100	50	100	/	/	100	100
				達成率	-	-	112%	120%	134%	100%	-	-	-	-	-	-
活動6	教育相談課	教育相談に係る研修会の受講者数	人	実績値	150		0		158		/	/	/	/	/	
				目標値	-		150		150		150				150	
				達成率	-		0%		105%		-		-		-	
活動7	教育相談課	教育相談研修の受講教員が、各学校において、研修内容を活用した割合(令和2年度よりアンケート実施予定)	%	実績値	-		0		64		/	/	/	/		
				目標値	-		-		100		100				100	
				達成率	-		-		64%		-		-		-	
活動8	教育相談課	学校支援員の派遣により支援した学級数 【学校支援員の数】	学級	実績値	20		30		33		/	/	/	/		
				目標値	-		25		30		35				50	
				達成率	-		120%		110%		-		-		-	
			人	実績値	6		7		7		/	/	/	/		
				目標値	-		8		10		10				10	
				達成率	-		88%		70%		-		-		-	

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略2 不登校の未然防止と学校復帰・社会的自立の支援

施策3	不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実	記入所属	教育相談課
戦略2	不登校の未然防止と学校復帰・社会的自立の支援		
めざす方向性	不登校の未然防止・早期対応については、魅力のある学校づくりや学校・教育委員会・関係機関等との連携により、各校における組織的対応の強化を図っていきます。 不登校児童・生徒への支援については、学校への復帰や社会的自立に向け、個の状況に応じた多様な教育機会・学習機会を確保していきます。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
成果1	教育相談課	不登校児童・生徒数(年間30日以上 の欠席者) ※低減目標	人	実績値	239	697	312	665	318	678	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	236	691	280	656	300	650	/	/	220	660
				達成率	-	-	76%	104%	88%	97%	-	-	-	-	-	-
成果2	教育相談課	新規の不登校児童・生徒数 *低減目標	人	実績値	110	316	197	177	183	295	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	107	303	100	280	170	280	/	/	90	240
				達成率	-	-	54%	171%	55%	95%	-	-	-	-	-	-
成果3	教育相談課	校内委員会での協議に基づく指導により、 不登校の状況が改善した児童・生徒の割合	%	実績値	37		32		40		/	/	/	/	/	
				目標値	-		38		40		45		/	/	45	
				達成率	-		83%		100%		-		-		-	
成果4	教育相談課	登校サポーター派遣で別室登校支援をし、 状況が改善した児童・生徒の割合	%	実績値	68		68.1		66.8		/	/	/	/	/	
				目標値	-		70		70		72		/	/	75	
				達成率	-		97%		95%		-		-		-	
成果5	教育相談課	チャレンジ学級で支援し、状況が改善した 児童・生徒の割合	%	実績値	70		70.1		72.2		/	/	/	/	/	
				目標値	-		71		72		73		/	/	75	
				達成率	-		99%		100%		-		-		-	

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略2 不登校の未然防止と学校復帰・社会的自立の支援

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	教育相談課	不登校児童・生徒に対して不登校対応マニュアルに基づき支援した割合(令和2年度より算定)	%	実績値	-	100	100	/	/	/
				目標値	-	-	100	100	/	100
				達成率	-	-	100%	-	-	-
活動2	教育相談課	SCの相談延べ回数(区SC・都SC合計数)(戦略1の再掲)	回	実績値	74,517	66,126	66,387	/	/	/
				目標値	-	62,165	75,000	75,000	/	75,000
				達成率	-	106%	89%	-	-	-
活動3	教育相談課	SSWによる相談人数(実数)(戦略1の再掲)	人	実績値	363	444	473	/	/	/
				目標値	-	369	400	400	/	400
				達成率	-	120%	118%	-	-	-
活動4	教育相談課	校内委員会において支援方法等を協議した延べ回数(令和2年度より指標変更)	回	実績値	-	5,287	5,576	/	/	/
				目標値	-	6,000	6,000	6,000	/	6,000
				達成率	-	88%	93%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略2 不登校の未然防止と学校復帰・社会的自立の支援

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動5	教育相談課	長期欠席児童・生徒状況表で情報のあがった人数 ※低減目標	人	実績値	1,622	1,939	2,404			
				目標値	-	1,602	1,600	1,570		1,500
				達成率	-	83%	67%	-	-	-
活動6	教育相談課	小学校が小学6年生の長期欠席児童・生徒支援シート(共通シート)を作成し、進学先の中学校へ引き継ぎ指導を行った割合(令和2年度より算定)	%	実績値	-	88	110			
				目標値	-	-	90	93		100
				達成率	-	-	122%	-	-	-
活動7	教育相談課	登校渋りや教室に入れない児童・生徒に対し、登校サポーターを派遣した回数 【登校サポーターの人数】	回	実績値	1,852	4,578	5,096			
				目標値	-	4,500	4,500	4,500		4,500
				達成率	-	102%	113%	-	-	-
			人	実績値	51	74	104			
				目標値	-	54	70	70		70
				達成率	-	137%	149%	-	-	-
活動8	教育相談課	チャレンジ学級へつなげるため、不登校児童・生徒に対し働きかけを行った回数 【正式通級となった人数】	回	実績値	1,362	1,209	933			
				目標値	-	1,435	1,500	1,500		1,800
				達成率	-	84%	62%	-	-	-
			人	実績値	78	88	83			
				目標値	-	120	120	120		120
				達成率	-	73%	69%	-	-	-
活動9	教育相談課	NPOと連携した学習・居場所支援の登録児童・生徒数	人	実績値	10	52	67			
				目標値	-	50	60	60		60
				達成率	-	104%	112%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略3 切れ目のない特別支援教育の推進

施策3	不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実	記入所属	支援管理課
戦略3	切れ目のない特別支援教育の推進		
めざす方向性	心身の発達に支援を必要とする子どもたちに、早い時期から発達段階に応じた支援を行うため、「気づく」「つなぐ」「支える」の3つの視点から、関係機関同士の連携を図り、一人ひとりの成長や生活環境に応じた切れ目のない相談・支援を強化していきます。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
成果1	支援管理課	就学相談が完結した割合<小学校入学、小・中学校>	%	実績値	99	99	99	/	/	/
				目標値	-	99.2	99	100	/	100
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
成果2	支援管理課	相談児童数のうち、関係機関と連携できた割合<就学前>	%	実績値	90	97	98	/	/	/
				目標値	-	91.3	98	98	/	98
				達成率	-	106%	100%	-	-	-
成果3	支援管理課	発達支援児の行動上の課題が軽減又は現状維持したと判定された児童の割合<就学前>	%	実績値	89	95	96	/	/	/
				目標値	-	90	95	96	/	95
				達成率	-	106%	101%	-	-	-
成果4	支援管理課	特別支援教室での指導により困り感が改善(退室)した児童・生徒の割合	%	実績値	5.8	7.1	9.1	/	/	/
				目標値	-	6.5	7.5	9.5	/	10
				達成率	-	109%	121%	-	-	-
成果5	支援管理課	ペアレント・メンター(発達障がい特性のある子の育児経験がある保護者)による相談件数のうち、2回以上相談にかかっているリピーターの割合	%	実績値	68	59	85	/	/	/
				目標値	-	69.2	72	85	/	75
				達成率	-	85%	118%	-	-	-
成果6	支援管理課	ユニバーサルデザインの視点を取り入れた指導を実践している教員の割合	%	実績値	-	0	70	/	/	/
				目標値	-	-	70	80	/	100
				達成率	-	-	100%	-	-	-

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	支援管理課	「心理相談」「発達相談」「出張相談」の件数	件	実績値	2,226	2,236	2,346	/	/	/
				目標値	-	2,272	2,250	2,420	/	2,500
				達成率	-	98%	104%	-	-	-
活動2	支援管理課	「保護者向けミニ講座」の実施回数【参加者(組)】(令和元年度新規事業)	回	実績値	-	0	0	/	/	/
				目標値	-	-	10	10	/	24
				達成率	-	-	0%	-	-	-
			組	実績値	-	0	0	/	/	/
				目標値	-	-	70	70	/	140
				達成率	-	-	0%	-	-	-
活動3	支援管理課	「4歳の気づきのしくみ」の実施園の割合(対象園:認可保育所・区立認定こども園)	%	実績値	70	65.4	70.7	/	/	/
				目標値	-	73.3	67	75	/	90
				達成率	-	89%	106%	-	-	-
活動4	支援管理課	チューリップシート(就学支援シート)の提出率	%	実績値	67	97.9	100	/	/	/
				目標値	-	72.5	100	100	/	100
				達成率	-	135%	100%	-	-	-
活動5	支援管理課	発達支援委員会で特別支援を要すると判定された3~5歳児のうち、「園生活支援シート(個別支援計画)」を作成した割合(令和2年度より算定)	%	実績値	-	46	47	/	/	/
				目標値	-	-	49	75	/	100
				達成率	-	-	96%	-	-	-
活動6	支援管理課	就学移行プログラムの実施小学校数	校	実績値	3	7	0	/	/	/
				目標値	-	7	7	0	/	67
				達成率	-	100%	0%	-	-	-
活動7	支援管理課	就学支援委員会の実施回数	回	実績値	30	22	20	/	/	/
				目標値	-	30	20	24	/	30
				達成率	-	73%	100%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略3 切れ目のない特別支援教育の推進

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動8	支援管理課	特別支援学級(固定学級)の設置校数	校	実績値	29	29	30			
				目標値	-	29	30	30		30
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動9	支援管理課	特別支援教室(コミュニケーションの教室)の設置校数	校	実績値	81	104	104			
				目標値	-	104	104	103		102
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動10	支援管理課	スクールアシスタントの配置申請に基づき、スクールアシスタントを配置することができた子どもの割合(令和4年度より指標名変更)	%	実績値	93	94.6	97.8			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	95%	98%	-	-	-
活動11	支援管理課	ペアレント・メンターによる相談件数【利用者数】	件	実績値	103	99	87			
				目標値	-	106	108	90		120
				達成率	-	94%	81%	-	-	-
			人	実績値	52	128	130			
				目標値	-	69	140	140		156
				達成率	-	185%	93%	-	-	-
活動12	支援管理課	特別支援に係る研修会の実施回数	回	実績値	23	16	17			
				目標値	-	23	24	18		23
				達成率	-	70%	71%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略4 いじめの早期発見・早期対応

施策3	不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実	記入所属	教育指導課
戦略4	いじめの早期発見・早期対応		
めざす方向性	いじめはどの学校でもどの子どもにも起こり得るとの認識の下、いじめに関する相談体制の充実や、学校と各関係機関における情報共有及び連携した対応により、いじめの早期発見・早期対応を図ります。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
成果1	教育指導課	いじめに関するアンケートで「相談できる人がある」に肯定的な回答をした小・中学生の割合 ※2月実施	%	実績値	99.3	98.6	99.6	98.1	99.4	97.9	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	99.4	98.8	99.7	98.6	99.8	98.8	/	/	100	100
				達成率	-	-	100%	99%	99%	99%	-	-	-	-	-	-
成果2	教育指導課	小・中学校におけるいじめの解消率	%	実績値	67.8	75.5	77	77.4	83.8	84.9	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	69	76.3	76.5	78	84	85	/	/	75	80
				達成率	-	-	112%	101%	110%	109%	-	-	-	-	-	-
成果3	教育指導課	「全国学力・学習状況調査」で「いじめはどんなことがあってもいけないことだと思う」に肯定的な回答をした小・中学生の割合	%	実績値	95.8	95.2	-	-	96.2	95.4	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	96.5	96.0	96.8	96.7	97	97	/	/	100	100
				達成率	-	-	-	-	99%	99%	-	-	-	-	-	-

施策3 不登校児など子どもの状況に応じた支援の充実
 戦略4 いじめの早期発見・早期対応

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動1	教育指導課	いじめ相談(いじめ電話相談、ネット相談)受付件数	件	実績値	35	20	38			
				目標値	-	36	25	30		40
				達成率	-	56%	152%	-	-	-
活動2	教育指導課	足立区いじめ等問題対策委員会の実施回数	回	実績値	3	3	3			
				目標値	-	3	3	3		3
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動3	教育指導課	教員対象の「いじめ・自殺予防に関する研修会」の実施回数	回	実績値	4	2	3			
				目標値	-	4	4	4		4
				達成率	-	50%	75%	-	-	-

施策 5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援

戦略 1 多様な体験活動の提供とその充実……………	99
戦略 2 家庭教育支援の充実……………	103
戦略 3 社会的自立に必要な力の育成・支援……………	105

第3章 評価シート(実績値)

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略1 多様な体験活動の提供とその充実

施策名	子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援	記入所属	教育指導課 学力定着推進課 学校支援課 学務課 青少年課
戦略名	多様な体験活動の提供とその充実		
めざす方向性	生命や自然を大切に作る心や他を思いやる優しさ、社会性、規範意識などを育てるため、学校において、自然体験活動や集団宿泊体験、伝統文化体験、奉仕体験活動といった多様な体験活動機会の充実に努めます。 また、子ども・若者が育つ地域環境の整備に向け、大学や青少年関係団体・関係者等との連携や協働を進めるとともに、団体活動の支援・育成に取り組んでいきます。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6							
成果1	青少年課	大学生体験教室・ものづくり体験教室に参加してアンケートに回答した小・中学生のうち、「今回の体験をとおして、これからも新しいことを知ったりチャレンジしたいと思った」と回答した割合(令和2年度より実施)	%	実績値	-	90	87	/	/	/						
				目標値	-	-	90	90	/	90						
				達成率	-	-	97%	-	-	-						
成果2	青少年課	「足立区学力定着に関する総合調査」で小学5年生が「地域の行事に参加している」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	56.3	-	53.4	/	/	/						
				目標値	-	57.1	-	59	/	61						
				達成率	-	-	-	-	-	-						
成果3	青少年課	「全国学力・学習状況調査」で小学6年生及び中学3年生が「人の役に立つ人間になりたい」に肯定的な回答をした割合(※施策1の再掲)	%	実績値	93	92.3	-	-	93.6	93.2	/	/	/	/	/	
				目標値	-	-	93.3	92.8	93.5	93	94	93.6	/	/	95	95
				達成率	-	-	-	-	100%	100%	-	-	-	-	-	-

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略1 多様な体験活動の提供とその充実

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位		H30	R2	R3	R4	R5	R6
活動1	学務課	自然教室における各学校の体験活動数の合計(野菜の収穫、日光彫、田植え、稲刈り、笹団子づくり、磯の生物観察、文化遺産見学、ハイキング等) (※施策1の再掲)	回	実績値	905	205	525			
				目標値	-	905	905	905		905
				達成率	-	23%	58%	-	-	-
活動2	青少年課	青少年課の大学連携事業の全プログラムの提供数	回	実績値	25	11	23			
				目標値	-	26	27	27		33
				達成率	-	42%	85%	-	-	-
活動3	学力定着推進課	大学と連携した留学生交流学習の実施校数	校	実績値	6	3	2			
				目標値	-	6	6	6		6
				達成率	-	50%	33%	-	-	-
活動4	青少年課	あだち子ども百人一首大会の参加率	%	実績値	99.1	0	0			
				目標値	-	99.3	100	100		100
				達成率	-	0%	0%	-	-	-
活動5	教育指導課	職場体験を実施している中学校の割合	%	実績値	100	0	2.9			
				目標値	-	100	100	100		100
				達成率	-	0%	3%	-	-	-
活動6	学校支援課	放課後子ども教室への学校担当職員巡回回数(1校あたりの年間巡回回数/週1回として42回)	回	実績値	49	26	27			
				目標値	-	49	42	42		49
				達成率	-	53%	64%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略1 多様な体験活動の提供とその充実

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動7	青少年課	青少年問題協議会の開催回数	回	実績値	2	1	0			
				目標値	-	2	2	2		2
				達成率	-	50%	0%	-	-	-
活動8	青少年課	青少年委員としてブロックで行う活動の回数	回	実績値	137	73	153			
				目標値	-	140	73	153		156
				達成率	-	52%	210%	-	-	-
活動9	青少年課	青少年対策地区委員会全体の主催事業数	事業	実績値	121	41	54			
				目標値	-	123	108	108		130
				達成率	-	33%	50%	-	-	-
活動10	青少年課	ジュニアリーダークラブ(中学生・高校生)の構成員数	人	実績値	30	74	74			
				目標値	-	42	80	80		100
				達成率	-	178%	93%	-	-	-
活動11	青少年課	ジュニアリーダー研修会の参加者数	人	実績値	560	203	64			
				目標値	-	575	250	480		650
				達成率	-	35%	26%	-	-	-
活動12	青少年課	子ども会育成者の研修会実施回数	回	実績値	22	0	0			
				目標値	-	22	22	22		23
				達成率	-	0%	0%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略2 家庭教育支援の充実

施策名	子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援	記入所属	就学前教育推進担当課 青少年課
戦略名	家庭教育支援の充実		
めざす方向性	家庭に対して、規則正しい生活リズムの定着や、子どもを育てる上で実践することが望ましい内容の啓発を図るとともに、家族がふれあう機会、保護者同士がつながる機会を提供することにより、子どもたちが健やかに育つことができる家庭環境の醸成を図ります。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
成果1	青少年課	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーの取り組み園の保護者アンケートで、「早寝・早起き・朝ごはんをこころがけるようになった」と回答した方の割合(令和2年度より設問追加)	%	実績値	-	68.3	72.2	/	/	/
				目標値	-	-	65	73	/	75
				達成率	-	-	111%	-	-	-
成果2	就学前教育推進担当課	基本的な生活習慣が身についている小学1年生の割合(※施策2の再掲)	%	実績値	90.6	88.4	87	/	/	/
				目標値	-	90	90	90	/	90
				達成率	-	98%	97%	-	-	-
成果3	青少年課	家庭教育支援講座の受講者を対象としたアンケートにおいて、「今後に生かせると思う」に肯定的な回答をした割合(令和2年度より実施)	%	実績値	-	100	94	/	/	/
				目標値	-	-	65	85	/	85
				達成率	-	-	145%	-	-	-

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略2 家庭教育支援の充実

成果指標を達成するための活動指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6	
活動1	青少年課	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーに取り組む園の割合 ※4・5歳児の在籍園に限る	%	実績値	73.1	71	73			
				目標値	-	76.5	76.5	80		93.5
				達成率	-	93%	95%	-	-	-
活動2	青少年課	早寝・早起き・朝ごはんカレンダーに取り組む小学校の割合(令和2年度より実施) ※小学1年生を対象	%	実績値	-	100	52.2			
				目標値	-	-	50	60		100
				達成率	-	-	104%	-	-	-
活動3	就学前教育推進担当課	保育者と小学校教員を対象とした接続期教育研修(幼保小連携研修)の実施回数	回	実績値	2	2	2			
				目標値	-	2	2	2		2
				達成率	-	100%	100%	-	-	-
活動4	青少年課	「子育て仲間づくり活動」を実施した団体数	団体	実績値	46	4	7			
				目標値	-	48	48	48		60
				達成率	-	8%	15%	-	-	-
活動5	青少年課	家庭教育支援講座の実施数【延べ人数】	回	実績値	15	5	3			
				目標値	-	16	16	16		20
				達成率	-	32%	19%	-	-	-
			人	実績値	79	19	19			
				目標値	-	86	86	86		120
				達成率	-	22%	22%	-	-	-

第3章 評価シート(実績値)

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略3 社会的自立に必要な力の育成・支援

施策名	子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援	記入所属	教育指導課 環境政策課
戦略名	社会的自立に必要な力の育成・支援		
めざす方向性	夢や希望の実現に向けて適切な進路選択を行い、社会の中で自立し、他者と連携・協働しながら、地域の課題解決を社会の構成員の一員として主体的に担うことができる力を育むため、キャリア教育や主権者教育、環境教育の充実を図ります。		

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30		R2		R3		R4		R5		R6		
				小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	小	中	
成果1	教育指導課	「足立区学力定着に関する総合調査」で「将来の夢や目標を持っている」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	86	74.3	-	-	86	72.2	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	86.7	75.3	86.7	75.3	87.2	76.9	/	/	90	80
				達成率	-	-	-	-	99%	96%	-	-	-	-	-	-
成果2	教育指導課	「全国学力・学習状況調査」で「地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある」に肯定的な回答をした割合	%	実績値	49.4	36.9	-	-	46.7	39.3	/	/	/	/	/	/
				目標値	-	-	51.2	39.1	51.2	39.1	54.4	42.8	/	/	60	50
				達成率	-	-	-	-	91%	101%	-	-	-	-	-	-

施策5 子ども・若者が社会と関わる力を育むための成長支援
 戦略3 社会的自立に必要な力の育成・支援

戦略の達成度を測る成果指標

No.	所属	指標名	単位	H30	R2	R3	R4	R5	R6				
活動1	教育指導課	キャリア教育支援事業の事業参加校の割合 ※平成30年度までは小学校のみが対象で、令和元年度以降は小・中学校が対象	%	実績値	91	17	65						
				目標値	-	92.5	92.5	100		100			
				達成率	-	18%	70%	-	-	-			
活動2	教育指導課	夢デザインシートを活用している小・中学校の割合	%	実績値	100	100	100						
				目標値	-	100	100	100		100			
				達成率	-	100%	100%	-	-	-			
活動3	教育指導課	職場体験を実施している中学校の割合 (※戦略1の再掲)	%	実績値	100	-	2.9						
				目標値	-	100	100	100		100			
				達成率	-	-	3%	-	-	-			
活動4	教育指導課	租税教室開催の小・中学校の割合	%	実績値	小 100 中 48.5	小 - 中 -	小 95.7 中 25.7						
				目標値	-	-	100 50.4	100 50.4	100 52.9		100 60		
				達成率	-	-	-	-	96% 51%	-	-	-	-
				実績値	100	100	100						
活動5	教育指導課	税についての作文に取り組んでいる中学校の割合	%	目標値	-	100	100	100		100			
				達成率	-	100%	100%	-	-	-			
				実績値	2	0	2						
活動6	教育指導課	教員を対象にした消費者教育に関する研修会の実施回数	回	目標値	-	2	2	2		2			
				達成率	-	0%	100%	-	-	-			
				実績値	-	-	48						
活動7	環境政策課	小・中学校環境学習出前講座の実施回数(令和4年度より指標変更)	回	目標値	-	-	50	55		65			
				達成率	-	-	96%	-	-	-			